

DocPoem



**Document Publisher
on Easy Management**

**Document Publisher
on Easy Management**

Ver 2.0

DocPoem

ユーザーズマニュアル

エイセル株式会社

- Microsoft および、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または商標です。
- DocPoem は、エイセル株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または、商標です。
- なお、本文中では、TM、R マークは明記しておりません。

ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
 - ②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
 - ③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社まで御連絡ください。
- また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されることがあります。

一目 次一

はじめに.....	1
1. 特長	2
2. 動作環境	3
3. インストール.....	5
3.1 新規インストール	5
3.2 上書きインストール	11
4. アンインストール	14
5. 基本操作	17
5.1 起動方法.....	17
5.2 レイアウト編集操作.....	17
5.2.1 表示操作	17
5.2.2 編集共通操作	19
5.2.3 文書構成操作	20
5.2.4 印刷属性操作	20
5.3 印刷操作	38
5.4 環境設定	39
5.4.1 [オプション] ダイアログ	39
5.5 終了方法.....	44
6. プレビュー画面操作.....	46
6.1 共通の操作	46
6.2 [印刷原稿] ビュー	47
6.2.1 原稿への操作	47
6.3 [仕上がりイメージ] ビュー	48
6.3.1 片面表示	48
6.3.2 見開き表示	48
6.3.3 冊子表示	48
6.3.4 仕上がりイメージでの操作	49
6.4 プレビューメニュー	49
6.5 範囲選択モードメニュー	51
7. お気に入り	53

7.1 お気に入りの登録	53
7.1.1 [お気に入りの登録] ダイアログ	53
7.2 お気に入りの適用	54
7.3 お気に入りの編集	54
7.3.1 [お気に入りの編集] ダイアログ	54
8. プリンタビュー画面操作.....	58
8.1 プリンタの自動生成.....	58
8.2 画面	59
8.3 印刷	60
8.3.1 出力機能	60
8.4 プリンタビューメニュー	61
8.4.1 [仮想プリンタの追加] ウィザード	64
8.4.2 [セキュリティプリント設定] ダイアログ	67
8.4.3 [認証情報設定] ダイアログ	70
8.4.4 [物理プリンタプロパティ] ダイアログ	72
8.4.5 [仮想プリンタプロパティ] ダイアログ	75
9. ファイル操作.....	79
9.1 “ACEL DocPoem Image Driver”からの取り込み	79
9.2 DocPoem文書の保存	79
9.3 DocPoem文書の取り込み	79
9.3.1 取り込み方法.....	80
10. メニュー	82
10.1 メニューバー	82
10.1.1 [ファイル] メニュー	82
10.1.2 [編集] メニュー	86
10.1.3 [表示] メニュー	87
10.1.4 [イメージ] メニュー	94
10.1.5 [プリンタ] メニュー	96
10.1.6 [ツール] メニュー	97
10.1.7 [ヘルプ] メニュー	99
10.2 タスクトレイのメニュー	99
11. ツールバー／ステータスバー.....	101
11.1 ツールバー	101
11.1.1 標準ツールバー	101

11.1.2 標準2ツールバー	101
11.1.3 表示操作ツールバー	102
11.1.4 ページ操作ツールバー	103
11.1.5 両面編集操作ツールバー	103
11.1.6 まとめて1枚編集操作ツールバー	104
11.1.7 部数編集操作ツールバー	104
11.1.8 用紙編集操作ツールバー	105
11.1.9 レイアウト編集操作ツールバー	105
11.1.10 余白編集操作ツールバー	105
11.1.11 仕上げ編集操作ツールバー	106
11.1.12 設定情報ツールバー	106
11.1.13 お気に入りツールバー	107
11.1.14 カーソルツールバー	107
11.2 ステータスバー	107
1 2. ACEL DocPoem Image Driver	109
12.1 画面の説明	109
12.1.1 [基本] タブ	111
12.1.2 [詳細設定] タブ	116
1 3. 注意／制限事項	119
13.1 使用可能なプリンタ	119
13.2 ACEL DocPoem Image Driverに関する注意事項	119
13.3 ユーザー定義用紙サイズの使用に関する注意事項	119
13.4 使用するプリンタの事前確認	119
13.5 ネットワークプリンタ、サポート対象外機種についての機能制限事項	120
13.6 プリンタデバイスの性能と印刷設定に関する制限事項	121
13.7 白紙印刷に関する制限事項	121
13.8 印刷結果に関する制限事項	122
13.9 セキュリティプリントと認証情報の設定に関する制限事項	123
13.10 64ビットOSで使用する場合の制限事項	123

はじめに.....

DocPoem は、簡単操作で、オフィスユーザーの印刷コストの低減、出力作業の生産性向上、効率化を支援します。このマニュアルを使用して、DocPoem の使い方、機能を習得できます。

1. 特長

DocPoem の特長について説明します。

(1) 自由な文書構成

- ①印刷には不要なページを選択して削除することができます。不要なページは印刷しなくて済むので、用紙の無駄がなくなります。
- ②DocuWorks、Word、PowerPoint、Excel など、多彩なフォーマットの文書ファイルを 1 つの DocPoem 文書に束ねて出力することができます。

(2) プレビュー画面で出力イメージを把握

- ①プレビュー画面で出力イメージを確認しながらレイアウトの編集を行うことができます。
- ②小冊子、ホチキス、パンチ、紙折りなども簡単に設定でき、出力後のイメージを事前に確認できます。
- ③ページごとにカラー／モノクロ出力を選択できます。必要なページだけをカラーで出力し、プリントコストの削減をお手伝いします。
- ④プリンタドライバからはできなかった 2up での中綴じ小冊子印刷も可能で、用紙を節約することができます。

2. 動作環境

DocPoem の動作環境について説明します。

(1) ハードウェア／OS 環境

OS (※1)	<ul style="list-style-type: none">Microsoft Windows 7Microsoft Windows 7 64 ビット版Microsoft Windows 8 64 ビット版Microsoft Windows 8.1 64 ビット版Microsoft Windows 10 64 ビット版Microsoft Windows 11 64 ビット版Microsoft Windows Server 2008 Enterprise / StandardMicrosoft Windows Server 2008 Enterprise / Standard 64 ビット版Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise / StandardMicrosoft Windows Server 2012 StandardMicrosoft Windows Server 2012 R2 StandardMicrosoft Windows Server 2016 Datacenter / StandardMicrosoft Windows Server 2019 Datacenter / StandardMicrosoft Windows Server 2022 Datacenter / Standard
CPU	Pentium III 1.0GHz 以上または、互換性のある CPU (※2)
メモリ	256MB 以上 (※2)
HDD	インストール時 : 50MB 以上の空き容量 データ保存フォルダとして別途 100MB 以上の空き容量を推奨
その他	<ul style="list-style-type: none">CD-ROM ドライブ800×600 ピクセル以上のディスプレイ (※3) (1024×768 ピクセル以上を推奨)Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX 以上マウス

(※1) WOW64 環境での動作は保証いたしません。

(※2) 使用するOS側の制限により必要なCPUやメモリが変更になる場合があります。

(※3) DocPoem Professionalの場合、1024×768ピクセル以上のディスプレイが必要です。

（2）推奨するプリンタ環境

機種	富士フィルムビジネスイノベーション社製プリンタを推奨
プリンタドライバ	ART EX プリンタドライバを推奨
その他	Windows にて使用するプリンタオブジェクトを作成しておく ことが必要

（3）その他

アプリケーション	アプリケーション文書を取り込む場合、実行する文書ファイルに印刷が関連付けられたアプリケーションが必要
圧縮文書の解凍	<ul style="list-style-type: none">UNLHA32.DLL が必要 (LZH 形式の圧縮)UNZIP32.DLL が必要 (ZIP 形式の圧縮)

3. インストール

インストール方法を説明します。

インストールの前に「2. 動作環境」の章を参照してインストールの準備が整っているかどうか確認しておいてください。

インストール用のファイルは圧縮されています。そのままの状態ではご使用になれません。必ずインストーラーから実行してください。

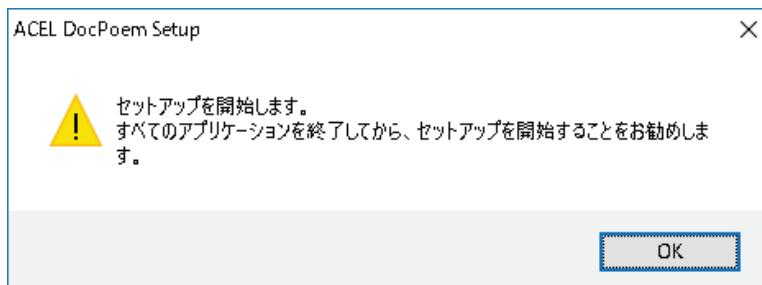
3.1 新規インストール

DocPoem をインストールする前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

インストールを途中で終了した場合、DocPoem は正しく動作いたしません。再度インストールを実行してください。

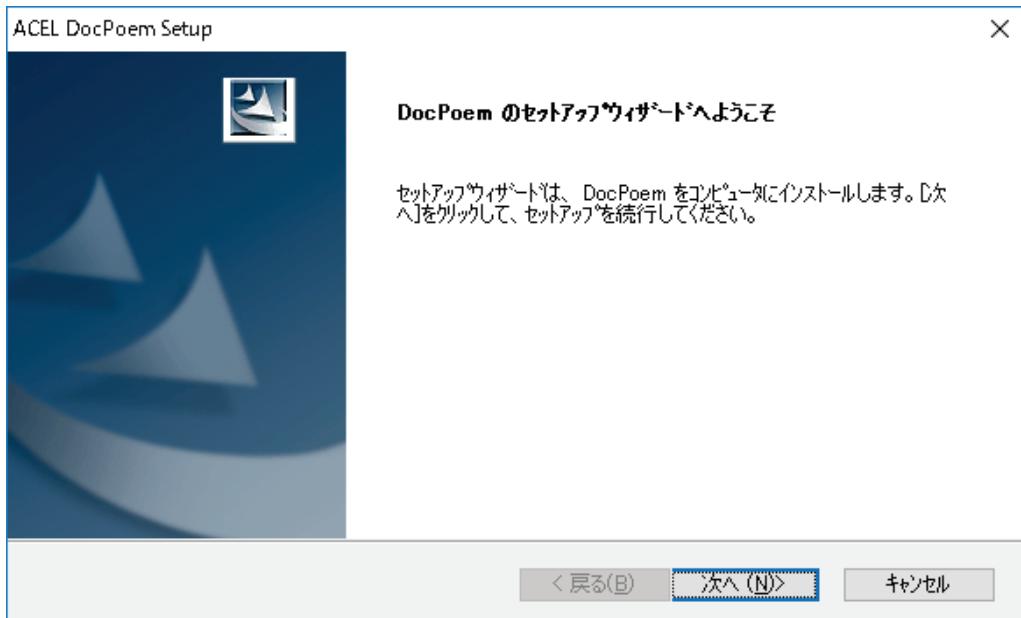
操作1. CD-ROM をドライブに挿入します。画面の説明に従い、インストーラーを起動してください。セットアップの警告メッセージを表示した後、「ようこそ画面」が表示されます。

図 3.1-1 警告メッセージ



<OK>ボタンをクリックしてください。「ようこそ画面」が表示されます。

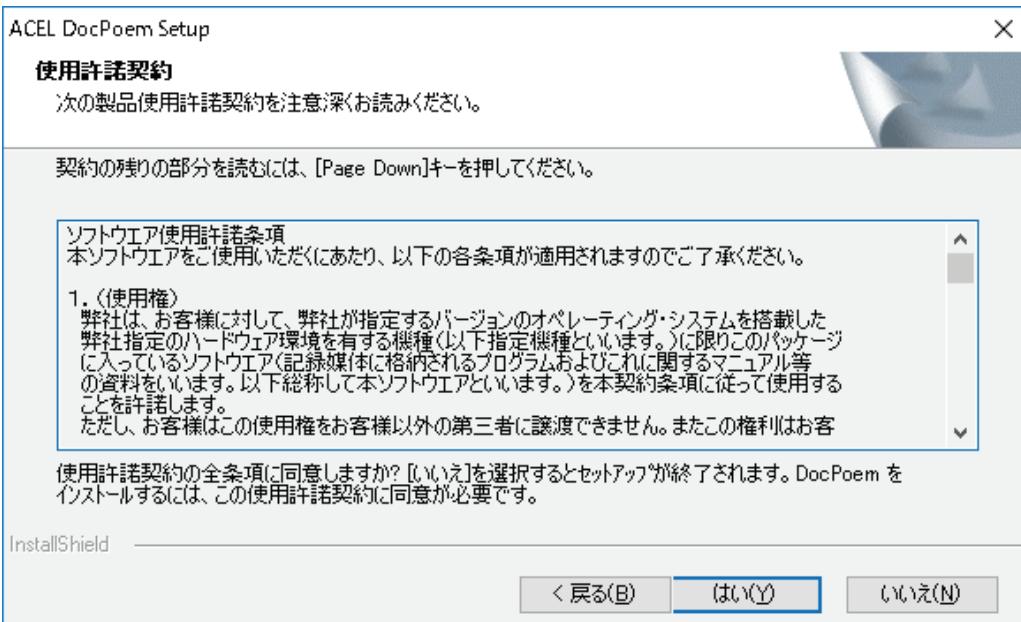
図 3.1-2 ようこそ画面



<次へ>ボタンをクリックしてください。「製品使用許諾契約」が表示されます。
<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

操作 2. 製品の使用許諾契約の内容を読んで製品のライセンスに同意してください。ライセンスに同意しない場合はインストールを続行することはできません。

図 3.1-3 製品使用許諾契約画面



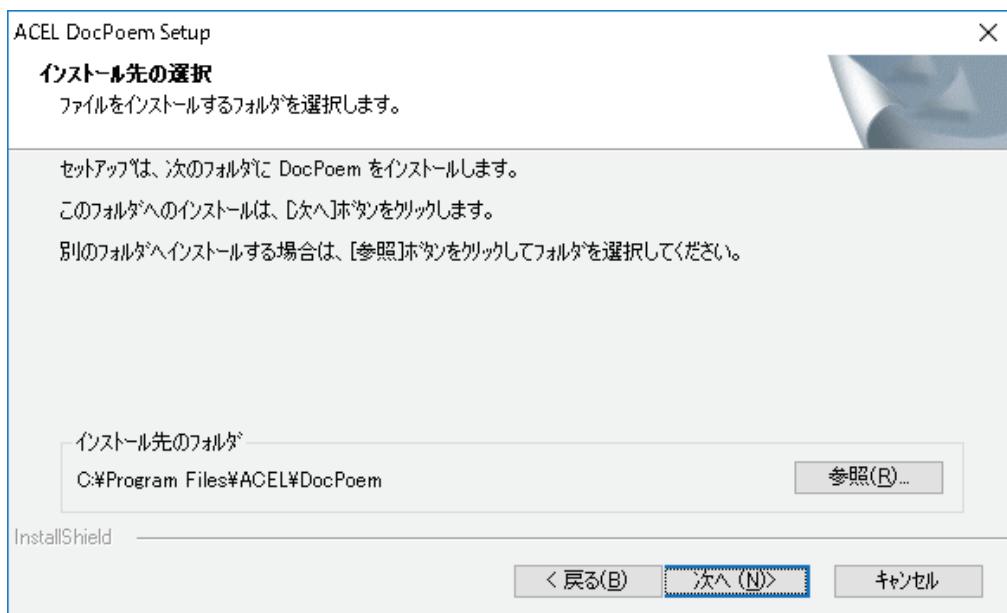
＜はい＞ボタンをクリックしてください。「インストール先の選択画面」が表示されます。

＜戻る＞ボタン ひとつ前の画面に戻ります。

＜キャンセル＞ボタン インストールを中止します。

操作3. インストール先のフォルダを指定してください。

図 3.1-4 インストール先の選択画面



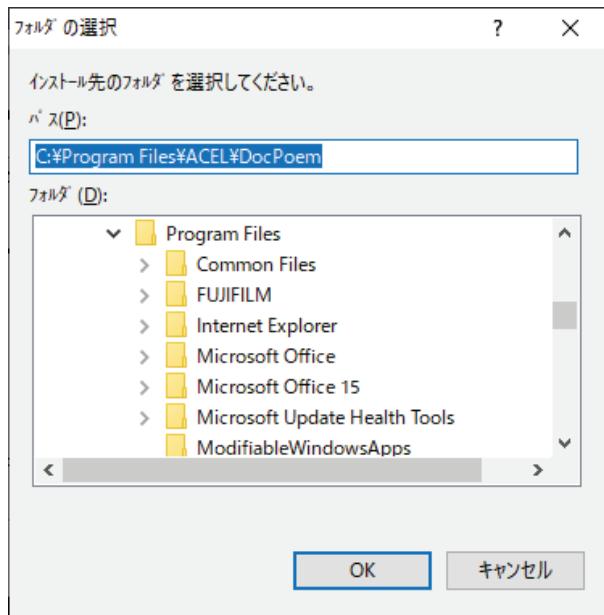
＜次へ＞ボタンをクリックしてください。「プログラムフォルダの選択画面」が表示されます。

＜戻る＞ボタン ひとつ前の画面に戻ります。

＜キャンセル＞ボタン インストールを中止します。

初期設定のフォルダ以外のフォルダにインストールを行う場合は、＜参照＞ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを指定してください。

図 3.1-5 ディレクトリの選択画面



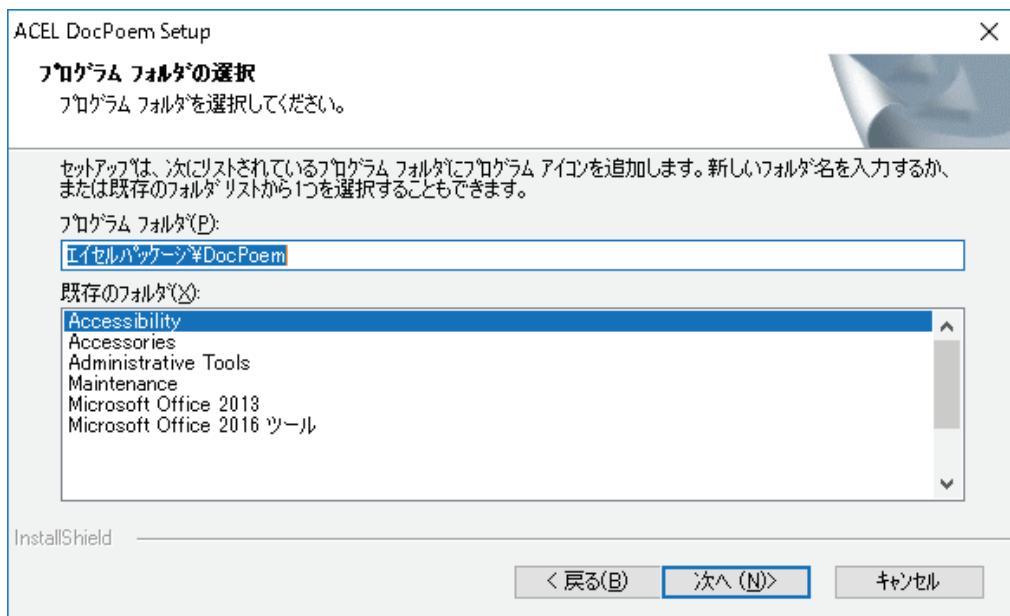
<OK>ボタン インストール先のフォルダを設定します。

<キャンセル>ボタン ディレクトリ選択を中止します。

操作4. プログラムフォルダを選択してください。

初期設定は“エイセルパッケージ¥DocPoem”になっています。

図 3.1-6 プログラムフォルダの選択画面



<次へ>ボタンをクリックしてください。インストールを開始します。

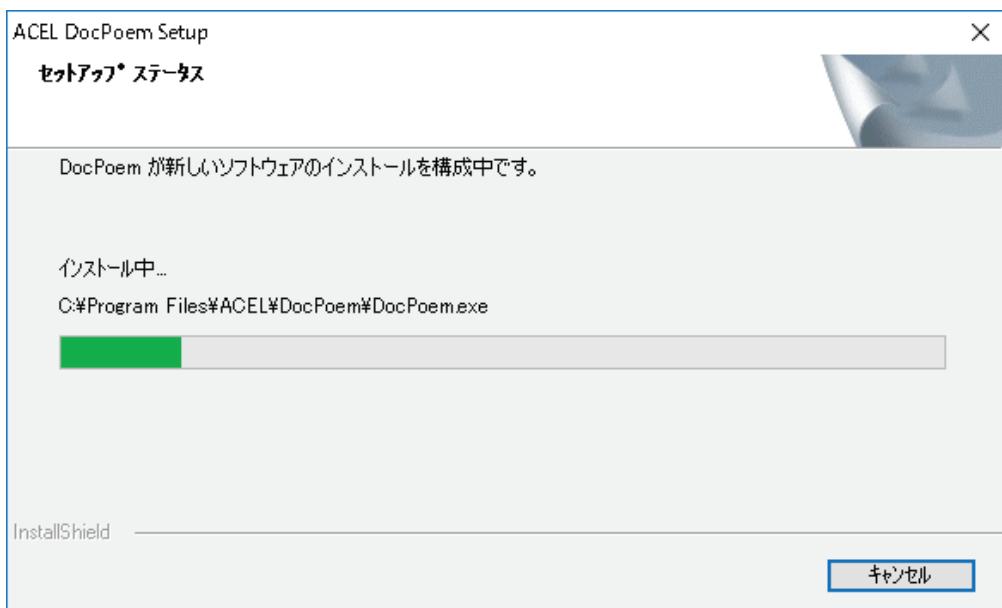
<戻る>ボタン ひとつ前の画面に戻ります。

<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

初期設定のプログラムフォルダ以外のフォルダを設定する場合には、下にある既存のフォルダの一覧から選択してください。

操作5. セットアップの状態を表示します。

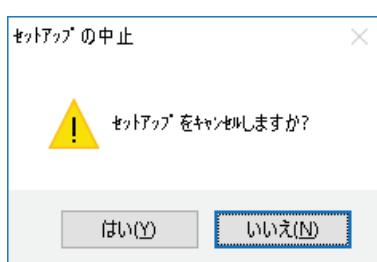
図 3.1-7 セットアップステータス画面



<キャンセル>ボタン 「セットアップの中止画面」が表示されます。

インストールの継続、または中止を指定してください。

図 3.1-8 セットアップの中止画面

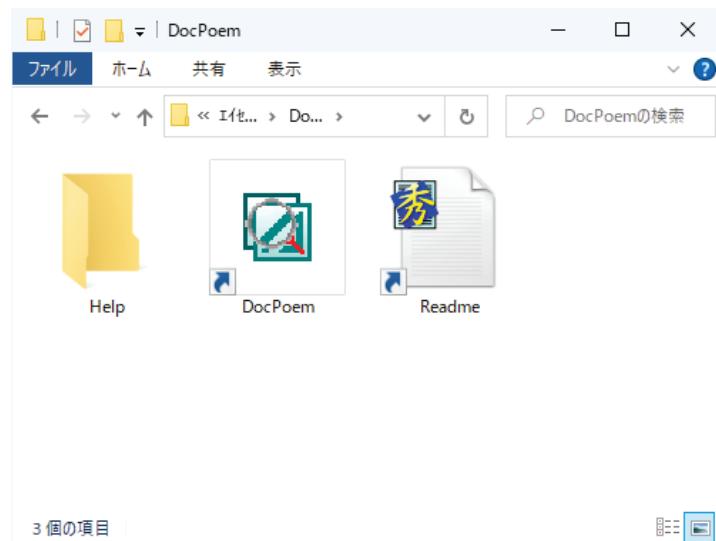


<はい>ボタン インストールを中止します。

<いいえ>ボタン インストールを継続します。

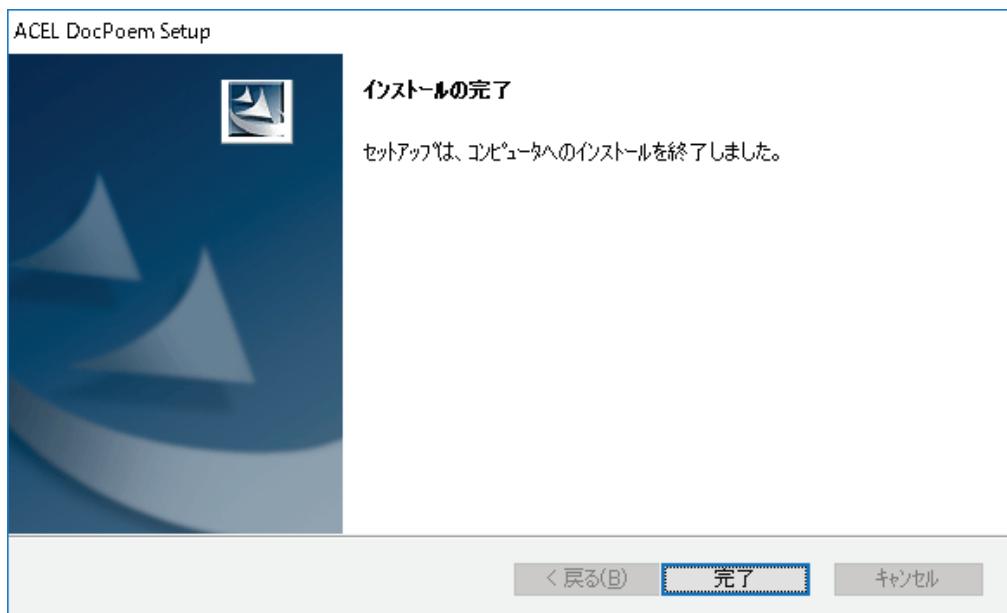
操作6. インストールが終了すると、「プログラムフォルダ画面」が表示されますので、内容を確認後、画面を閉じてください。

図 3.1-9 プログラムフォルダ画面



操作7. 「インストールの完了画面」が表示されます。

図 3.1-10 インストールの完了画面



<完了>ボタンをクリックしてください。DocPoem のインストールが終了します。

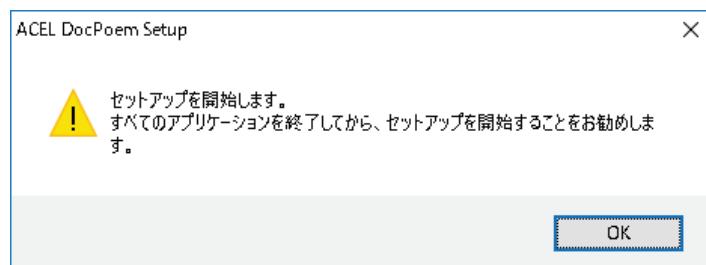
3.2 上書きインストール

DocPoem を上書きインストールする方法について説明します。

上書きインストール前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

操作1. CD-ROM をドライブに挿入します。画面の説明に従い、インストーラーを起動してください。セットアップの警告メッセージを表示した後、「ようこそ画面」が表示されます。

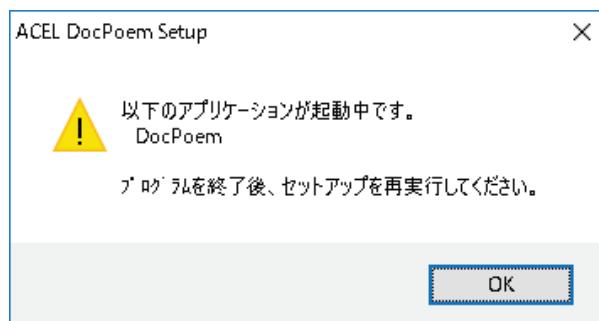
図 3.2-1 警告メッセージ



<OK>ボタンをクリックしてください。「ようこそ画面」が表示されます。

上書きインストールの際に、DocPoem が起動していると以下の警告メッセージが表示されます。画面の指示に従い、プログラムを終了後、再度上書きインストールを実行してください。

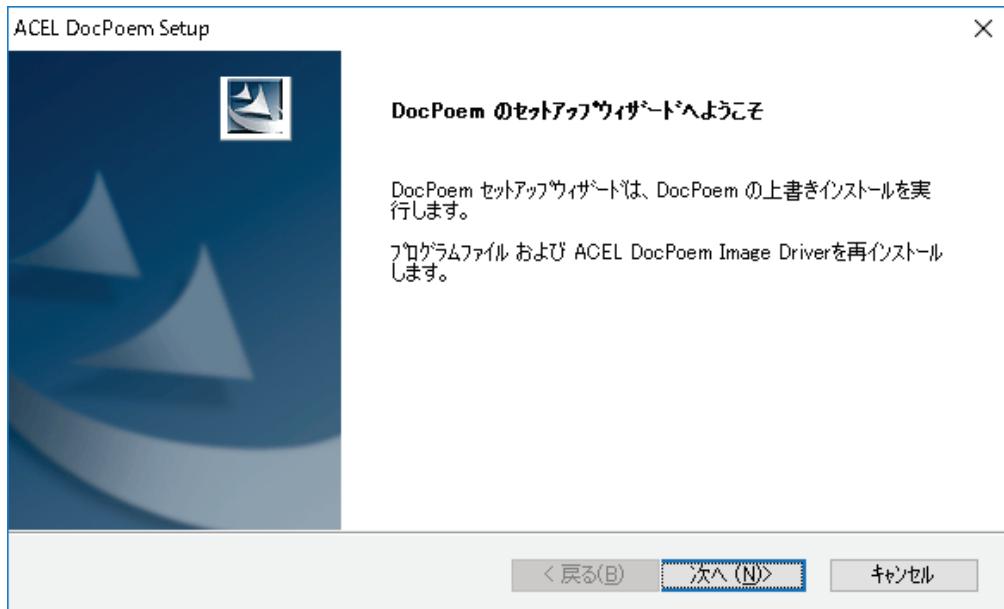
図 3.2-2 警告メッセージ



<OK>ボタン

上書きインストールを中止します。

図 3.2-3 ようこそ画面

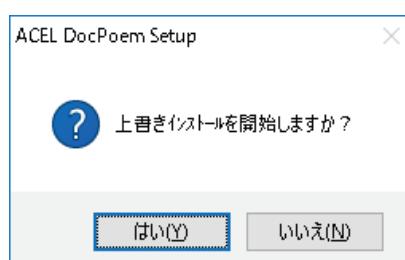


<次へ>ボタンをクリックしてください。上書きインストールの確認メッセージが表示されます。

<キャンセル>ボタン インストールを中止します。

操作 2. 上書きインストールを行うかどうかを指定します。

図 3.2-4 確認メッセージ

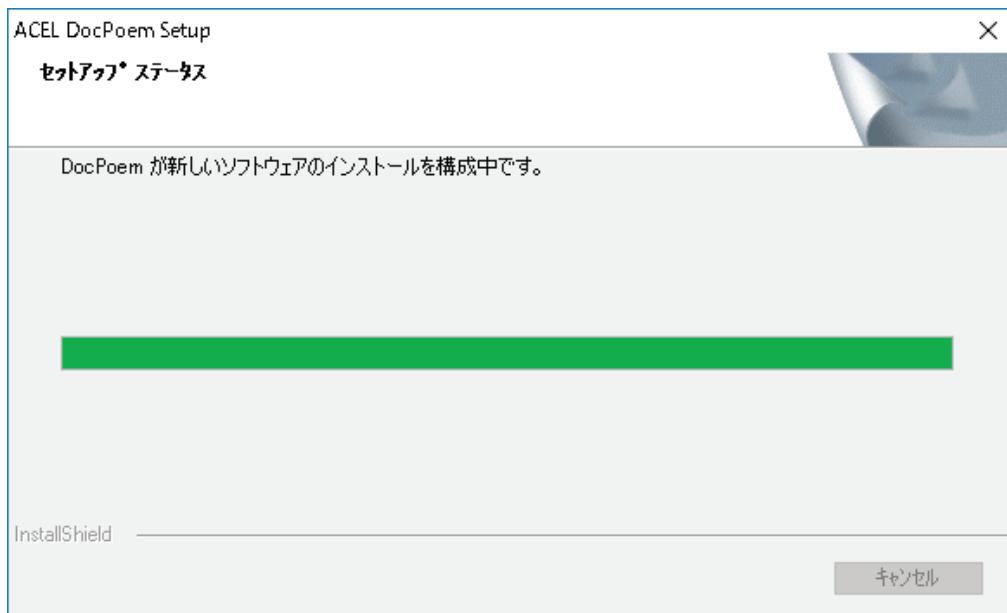


<はい>ボタンをクリックしてください。上書きインストールを開始します。

<いいえ>ボタン 上書きインストールを中止し、前の画面に戻ります。

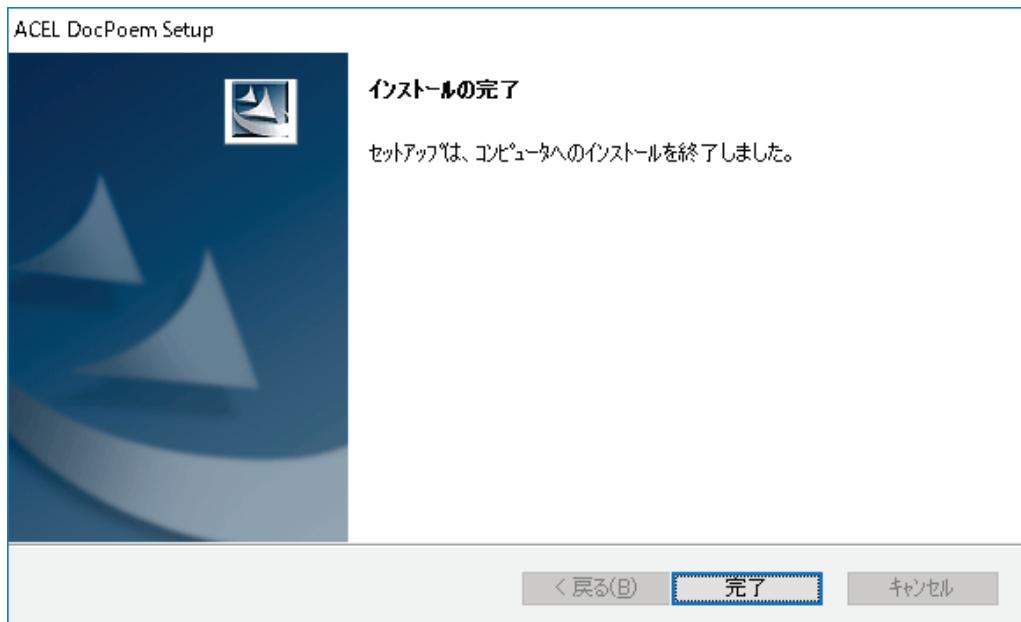
操作3. セットアップの状態を表示します。

図 3.2-5 セットアップステータス画面



操作4. 「インストールの完了画面」が表示されます。

図 3.2-6 インストールの完了画面



<完了>ボタンをクリックしてください。DocPoem のインストールが終了します。

4. アンインストール

アンインストールの方法を説明します。

アンインストール前に、起動している他のアプリケーションがあれば、すべて終了してください。

操作 1.

Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10 /

Windows Server 2008 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 /

Windows Server 2016 / Windows Server 2019 の場合

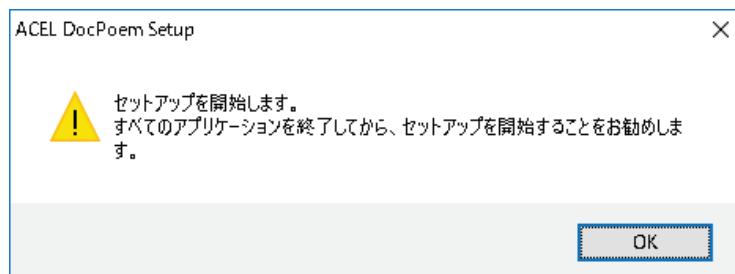
〔スタート〕メニューから 〔コントロールパネル〕 → 〔プログラムと機能〕をクリックします。

「プログラムと機能」画面が表示されます。

〔プログラムのアンインストールまたは変更〕から “ACEL DocPoem 2.0” のアプリケーションを選択して、<アンインストール>ボタンをクリックしてください。

セットアップの警告メッセージを表示した後、「ようこそ画面」が表示されます。

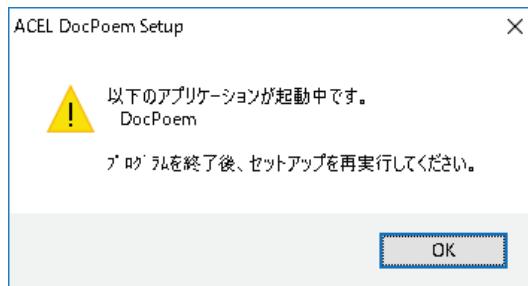
図 4-1 警告メッセージ



<OK>ボタンをクリックしてください。「ファイル削除の確認画面」が表示されます。

アンインストールの際に、DocPoem が起動していると以下の警告メッセージが表示されます。画面の指示に従い、プログラムを終了後、再度アンインストールを実行してください。

図 4.2 警告メッセージ

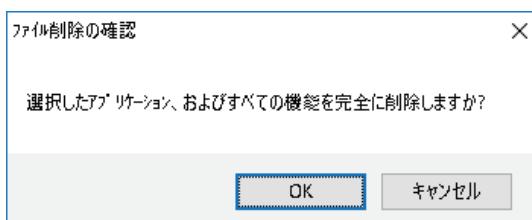


<OK>ボタン

アンインストールを中止します。

操作 2. 「ファイル削除の確認画面」が表示されます。

図 4-3 ファイル削除の確認画面

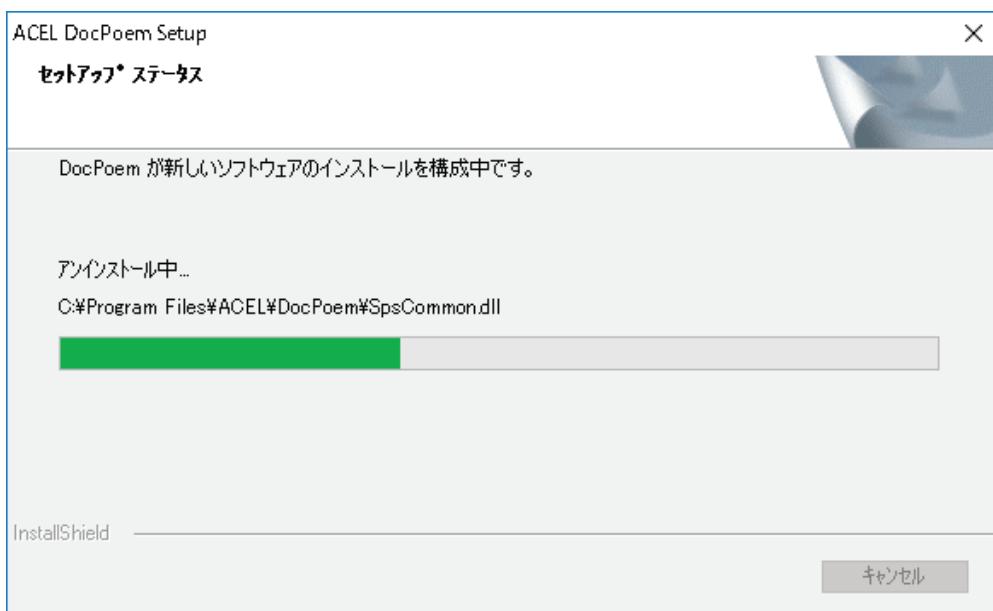


<OK>ボタンをクリックしてください。アンインストールを開始します。

<キャンセル>ボタン アンインストールを中止し、前の画面に戻ります。

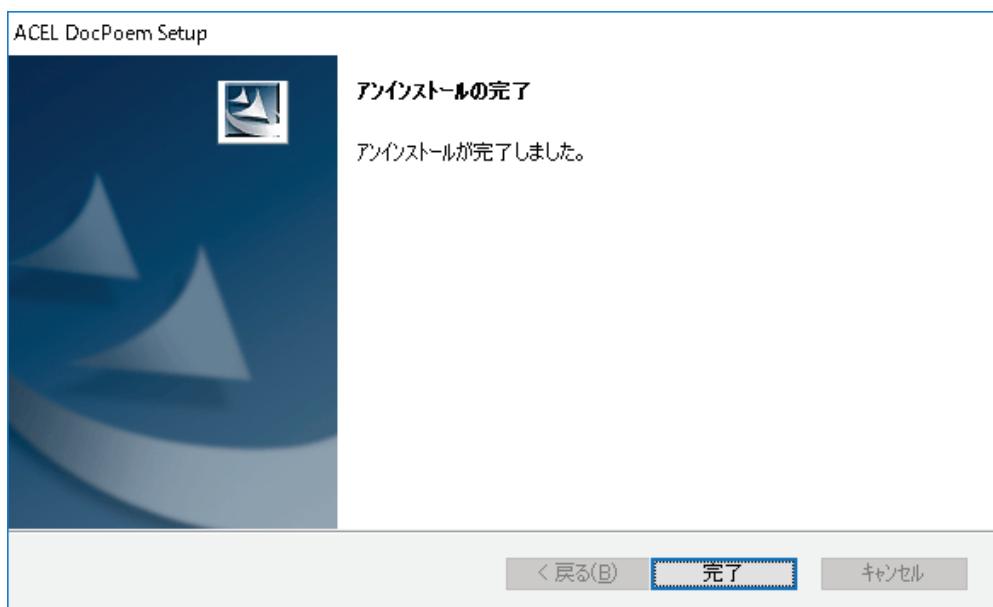
操作3. セットアップの状態を表示します。

図 4-4 セットアップステータス画面



操作4. 「アンインストールの完了画面」が表示されます。

図 4-6 アンインストールの完了画面



<完了>ボタン DocPoem のアンインストールが終了します。

5. 基本操作

DocPoem の基本操作について説明します。

5.1 起動方法

DocPoem は以下のいずれかの方法で起動します。

初回起動時、使用可能なプリンタに関する情報を作成するため、起動までに時間がかかる場合があります。

(1) スタートメニュー

①[スタート]メニューから、[プログラム] – [エイセルパッケージ] – [DocPoem]メニューを選択し、「DocPoem」のショートカットアイコンをクリックします。

(2) “ACEL DocPoem Image Driver” から起動

①アプリケーションからの印刷時に、出力するプリンタとして “ACEL DocPoem Image Driver” を選択します。

②DocPoem が起動し、アプリケーションからの印刷イメージが DocPoem に取り込まれます。

5.2 レイアウト編集操作

DocPoemに取り込んだ文書の基本的なレイアウト編集を行う操作について説明します。

5.2.1 表示操作

プレビュー画面に表示するページを切り替える操作について説明します。

5.2.1.1 先頭ページへ移動

機能

・現在のページを先頭に移動します。

- ・「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」単位で移動します。

操作

- ・メニューbaruから[表示]－[先頭のページ]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[先頭のページ]ボタンをクリックします。
- ・Home キーを押します。

5.2.1.2 前のページへ移動

機能

- ・現在のページを前のページに移動します。
- ・「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」単位で移動します。

操作

- ・メニューbaruから[表示]－[前のページ]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[前のページ]ボタンをクリックします。

5.2.1.3 次のページへ移動

機能

- ・現在のページを次のページに移動します。
- ・「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」単位で移動します。

操作

- ・メニューbaruから[表示]－[次のページ]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[次のページ]ボタンをクリックします。

5.2.1.4 最終のページへ移動

機能

- ・現在のページを最終に移動します。
- ・「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」単位で移動します。

操作

- ・メニューbaruから[表示]－[最終のページ]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[最終のページ]ボタンをクリックします。

- ・End キーを押します。

5.2.1.5 指定ページへ移動

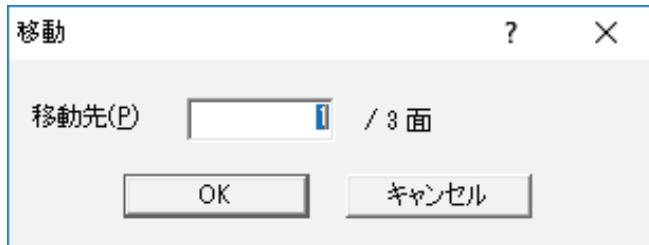
機能

- ・現在のページを指定したページに移動します。
- ・「印刷原稿」ビューを表示している場合は「原稿」、「仕上がりイメージ」ビューを表示している場合は「面」単位で移動します。

操作

- ・メニューバーから[表示] - [ページ指定]メニューを選択します。
- ・ページ操作ツールバーの[ページ指定]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + J キーを押します。
- ・「移動」ダイアログが表示されます。

図 5.2.1.5 [移動]ダイアログ



5.2.2 編集共通操作

文書構成、印刷属性の編集に共通した操作について説明します。

5.2.2.1 元に戻す

機能

- ・前に行った操作を元に戻します。
- ・ファイル保存が行われた場合、操作の履歴はクリアされます。

操作

- ・メニューバーから[編集] - [元に戻す]メニューを選択します。
- ・右マウスマENUから[元に戻す]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[元に戻す]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + Z キーを押します。

5.2.2.2 やり直し

機能

- ・元に戻した処理をやり直します。
- ・ファイル保存が行われた場合、操作の履歴はクリアされます。

操作

- ・メニューバーから[編集]—[やり直し]メニューを選択します。
- ・右マウスマENUから[やり直し]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[やり直し]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + Y キーを押します。

5.2.3 文書構成操作

「原稿」の削除による文書構成の操作について説明します。

5.2.3.1 削除

機能

- ・現在選択されている「原稿」を削除します。

条件

- ・「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューバーから[編集]—[削除]メニューを選択します。
- ・右マウスマENUから[削除]メニューを選択します。
- ・標準ツールバーの[削除]ボタンをクリックします。
- ・Delete キーを押します。

5.2.4 印刷属性操作

印刷属性の基本的な操作について説明します。

5.2.4.1 両面/片面

機能

- ・文書を両面印刷するか、片面印刷するかを指定します。

条件

- ・「小冊子印刷」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[両面]—[する]/[しない]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[両面]—[する]/[しない]メニューを選択します。
- ・両面編集操作ツールバーの[両面/片面]ボタンをクリックします。両面設定されている場合は



ボタンイメージ、片面設定されている場合は ボタンイメージが選択状態になります。

5.2.4.2 長辺とじ/短辺とじ

機能

- ・文書のとじ方向を長辺とじにするか、短辺とじにするかを指定します。

条件

- ・「小冊子印刷」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[両面]—[長辺とじ]/[短辺とじ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[両面]—[長辺とじ]/[短辺とじ]メニューを選択します。
- ・両面編集操作ツールバーの[長辺とじ/短辺とじ]ボタンをクリックします。長辺とじに設定され



ている場合は ボタンイメージ、短辺とじに設定されている場合は ボタンイメージが選択状態になります。

5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト

機能

- ・文書の1面に割り付ける原稿の数を[1ページ]、[2ページ]、[4ページ]、[8ページ]、[16ページ]、[32ページ]の中から指定します。

条件

- ・「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[まとめて1枚]—[1ページ]/[2ページ]/[4ページ]/[8ページ]/[16ページ]/[32ページ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[まとめて1枚]—[1ページ]/[2ページ]/[4ページ]/[8ページ]/[16ページ]/[32ページ]メニューを選択します。

- ・まとめて 1 枚編集操作ツールバーのボタンをクリックします。よく使われるレイアウトとして[1 ページ] , [2 ページ] , [4 ページ]  を選択できます。

5.2.4.4 まとめて 1 枚の割り付け順

機能

- ・文書の 1 面への原稿割り付け順を[順横方向]、[順縦方向]、[逆横方向]、[逆縦方向]の中から指定します。
- ・[順横方向]の場合、面の左上から右下に向かって横並びに原稿を割り付けていきます。
- ・[順縦方向]の場合、面の左上から右下に向かって縦並びに原稿を割り付けていきます。
- ・[逆横方向]の場合、面の右上から左下に向かって横並びに原稿を割り付けていきます。
- ・[逆縦方向]の場合、面の右上から左下に向かって縦並びに原稿を割り付けていきます。

条件

- ・「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューbaruから[イメージ]—[まとめて 1 枚]—[順横方向]/[順縦方向]/[逆横方向]/[逆縦方向]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[まとめて 1 枚]—[順横方向]/[順縦方向]/[逆横方向]/[逆縦方向]メニューを選択します。

5.2.4.5 枠線をつける

機能

- ・文書の原稿が割り付けられる領域に枠線を付けます。

条件

- ・「小冊子印刷」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューbaruから[イメージ]—[枠線をつける]メニューを選択します。
- ・まとめて 1 枚編集操作ツールバーの[枠線]ボタンをクリックします。

5.2.4.6 用紙サイズ

機能

- ・文書の出力用紙サイズを[原稿サイズと同じ]、[A3 (297x420mm)]、[A4 (210x297mm)]、[A5 (148x210mm)]、[B4 (257x364mm)]、[B5 (182x257mm)]、[8.5x11" (レター)]、

[8.5x14" (リーガル)]、[8.5x13" (ガバメントリーガル)]、[11x17" (ダブルレター)]の中から指定します。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[用紙サイズ]—[原稿サイズと同じ]/[A3 (297x420mm)]/[A4 (210x297mm)]/[A5 (148x210mm)]/[B4 (257x364mm)]/[B5 (182x257mm)]/[8.5x11" (レター)]/[8.5x14" (リーガル)]/[8.5x13" (ガバメントリーガル)]/[11x17" (ダブルレター)]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[用紙サイズ]—[原稿サイズと同じ]/[A3 (297x420mm)]/[A4 (210x297mm)]/[A5 (148x210mm)]/[B4 (257x364mm)]/[B5 (182x257mm)]/[8.5x11" (レター)]/[8.5x14" (リーガル)]/[8.5x13" (ガバメントリーガル)]/[11x17" (ダブルレター)]メニューを選択します。

5.2.4.7 給紙トレイ

機能

- ・文書の給紙トレイを[自動]、[トレイ 1]、[トレイ 2]、[トレイ 3]、[トレイ 4]、[トレイ 5]、[トレイ 6]、[トレイ 7]、[手差しトレイ]の中から指定します。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[給紙トレイ]—[自動]/[トレイ 1]/[トレイ 2]/[トレイ 3]/[トレイ 4]/[トレイ 5]/[トレイ 6]/[トレイ 7]/[手差しトレイ]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[給紙トレイ]—[自動]/[トレイ 1]/[トレイ 2]/[トレイ 3]/[トレイ 4]/[トレイ 5]/[トレイ 6]/[トレイ 7]/[手差しトレイ]メニューを選択します。

5.2.4.8 部数

機能

- ・文書を出力する部数を指定します。

条件

- ・1～999 部まで指定可能です。

操作

- ・部数編集操作ツールバーの[部数]入力ボックスに部数を入力します。

5.2.4.9 ソート

機能

- ・文書の部単位でのソート ON/OFF を切り替えます。

- ・ソートする場合、部単位で出力されます。

条件

- ・「ダブルコピー」、「小冊子印刷」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・部数編集操作ツールバーの[ソート]ボタンをクリックします。ソートする場合は  ボタンイメージ、ソートしない場合は  ボタンイメージが表示されます。

5.2.4.10 カラーモード

機能

- ・文書全体または、選択されている「原稿」をカラーデータとして出力するか、モノクロデータとして出力するかを指定します。

操作

- ・部数編集操作ツールバーの[カラーモード]ボタンをクリックします。カラーの場合は  ボタンイメージ、モノクロの場合は  ボタンイメージが表示されます。
- ・[カラーモード]ダイアログを表示します。

5.2.4.11 ヘッダー/フッター

機能

- ・文書に対するヘッダー/フッターを指定します。

操作

- ・メニューbaruから[イメージ]—[ヘッダー/フッター]メニューを選択します。
- ・余白編集操作ツールバーの[ヘッダー/フッター]ボタンをクリックします。
- ・[ヘッダー/フッター]ダイアログを表示します。

5.2.4.12 余白/とじしろ

機能

- ・文書の余白/とじしろを指定します。

操作

- ・メニューbaruから[イメージ]—[余白/とじしろ]メニューを選択します。

- ・余白編集操作ツールバーの[余白/とじしろ]ボタンをクリックします。
- ・[余白/とじしろ]ダイアログを表示します。

5.2.4.13 オフセット排出

機能

- ・文書のオフセット排出 ON/OFF を切り替えます。
- ・オフセット排出する場合、プリンタの能力に応じて「ジョブ単位」または「セット単位」でオフセット排出されます。

操作

- ・余白編集操作ツールバーの[オフセット排出]ボタンをクリックします。オフセット排出する場合は  ボタンイメージ、オフセット排出しない場合は  ボタンイメージが表示されます。

5.2.4.14 ホチキス

機能

- ・文書のホチキス留め設定を[しない]、[左 2 カ所]、[左上 1 カ所]、[上 2 カ所]、[右上 1 カ所]、[右 2 カ所]、[右下 1 カ所]、[下 2 カ所]、[左下 1 カ所]、[中とじ]の中から指定します。

条件

- ・「用紙サイズ」、「パンチ」、「紙折り」、「小冊子印刷」との組み合わせで設定可能な項目が制限されます。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[ホチキス]—[しない]/[左 2 カ所]/[左上 1 カ所]/[上 2 カ所]/[右上 1 カ所]/[右 2 カ所]/[右下 1 カ所]/[下 2 カ所]/[左下 1 カ所]/[中とじ]メニューを選択します。
- ・右マウスマENUから[ホチキス]—[しない]/[左 2 カ所]/[左上 1 カ所]/[上 2 カ所]/[右上 1 カ所]/[右 2 カ所]/[右下 1 カ所]/[下 2 カ所]/[左下 1 カ所]/[中とじ]メニューを選択します。
- ・仕上げ編集操作ツールバーの[ホチキス]ボタンをクリックします。
- ・「仕上げ」ダイアログが表示されます。

5.2.4.15 パンチ

機能

- ・文書のパンチ穴空け設定を[しない]、[左]、[上]、[右]、[下]の中から指定します。

条件

- ・「用紙サイズ」、「ホチキス」、「紙折り」との組み合わせで設定可能な項目が制限されます。
- ・「小冊子印刷」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[パンチ]—[しない]/[左]/[上]/[右]/[下]メニューを選択します。
- ・右マウスマENUから[パンチ]—[しない]/[左]/[上]/[右]/[下]メニューを選択します。
- ・仕上げ編集操作ツールバーの[パンチ]ボタンをクリックします。
- ・「仕上げ」ダイアログが表示されます。

5.2.4.16 パンチ穴数

機能

- ・パンチ穴空け時の穴の数を[2穴]、[3穴]、[4穴]の中から指定します。

条件

- ・「用紙サイズ」との組み合わせで設定可能な項目が制限されます。
- ・「小冊子印刷」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[パンチ]—[2穴]/[3穴]/[4穴]メニューを選択します。
- ・右マウスマENUから[パンチ]—[2穴]/[3穴]/[4穴]メニューを選択します。
- ・仕上げ編集操作ツールバーの[パンチ]ボタンをクリックします。
- ・「仕上げ」ダイアログが表示されます。

5.2.4.17 紙折り

機能

- ・文書の紙折り設定を[しない]、[Z折り]、[外三つ折り]、[内三つ折り]、[二つ折り]の中から指定します。

条件

- ・「用紙サイズ」、「ホチキス」、「パンチ」、「小冊子印刷」との組み合わせで設定可能な項目が制限されます。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[紙折り]—[しない]/[Z折り]/[外三つ折り]/[内三つ折り]/[二つ折り]メニューを選択します。
- ・右マウスマENUから[紙折り]—[しない]/[Z折り]/[外三つ折り]/[内三つ折り]/[二つ折り]メニューを選択します。
- ・仕上げ編集操作ツールバーの[紙折り]ボタンをクリックします。

- ・「仕上げ」ダイアログが表示されます。

5.2.4.18 小冊子印刷

機能

- ・文書の小冊子印刷設定 ON/OFF を切り替えます。

条件

- ・「ダブルコピー」が設定されている場合は操作できません。

操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[小冊子印刷]メニューを選択します。
- ・右マウスメニューから[小冊子印刷]メニューを選択します。
- ・レイアウト編集操作ツールバーの[小冊子印刷]ボタンをクリックします。

5.2.4.19 ダブルコピー

機能

- ・文書のダブルコピー設定 ON/OFF を切り替えます。

条件

- ・「小冊子印刷」が設定されている場合は操作できません。

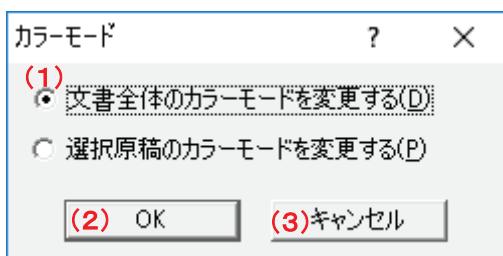
操作

- ・メニューバーから[イメージ]—[ダブルコピー]メニューを選択します。
- ・レイアウト編集操作ツールバーの[ダブルコピー]ボタンをクリックします。

5.2.4.20 [カラー モード] ダイアログ

[カラー モード] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.2.4.20 [カラー モード] ダイアログ



(1) [カラー モード] ラジオボタン

機能

- ・カラー モード 変更 の 適用範囲 を 指定 します。
- ・[文書全体のカラー モードを変更する]を選択した場合、カラー モード の 変更 を 文書全体 に 反映 させます。
- ・[選択原稿のカラー モードを変更する]を選択した場合、カラー モード の 変更 を 現在選択 して いる 原稿 にのみ 反映 させます。

操作

- ・初期値は、[文書全体のカラー モードを変更する]に なって います。

(2) [OK] ボタン

機能

- ・ 設定 内容 を 保存 し 画面 を 閉じ ます。

操作

- ・ 設定 した 項目 に 誤り が ある 場合、エラーメッセージ を 表示 します。

(3) [キャンセル] ボタン

機能

- ・ 处理 を 中断 し 画面 を 閉じ ます。

5.2.4.21 [ヘッダー/フッター] ダイアログ

[ヘッダー/フッター] ダイアログ の 画面 体裁、および 操作 について 説明 します。

図 5.2.4.21 [ヘッダー/フッター]ダイアログ



(1)、(2)、(3) [ヘッダー] 入力ボックス

(4)、(5)、(6) [フッター] 入力ボックス

機能

- 用紙の表面、または裏面に印刷するヘッダー、およびフッターの文字列を指定します。
- 印刷位置として左側、中央、および右側に分けて指定することができます。

操作

- 入力ボックスに直接文字列を入力します。
- 最大半角で 127 文字の半角、または全角文字が指定可能です。
- 文字書式を設定する場合、入力ボックスの文字を選択し、[フォント]ボタンを押します。
- 背景色を設定する場合、入力ボックスにカーソルを移動し、[背景色]ボタンを押します。
- 入力ボックスにカーソルを移動し、[ユーザー名]ボタン、[マシン名]ボタン、[日付]ボタン、[時刻]ボタン、または[ページ番号]ボタンを押すと、該当する項目を挿入します。

(7) [位置指定] ボタン

機能

- ヘッダー、およびフッターの印字位置を微調整します。

操作

- [ヘッダー/フッターの位置指定] ダイアログを表示します。

(8) [フォント]ボタン

機能

- ・選択した文字のフォント情報を指定します。

操作

- ・[フォント]ダイアログを表示します。

(9) [背景色]ボタン

機能

- ・背景色を指定します。

操作

- ・[背景色の設定]ダイアログを表示します。

(10) [ユーザー名]ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置にログオンユーザー名を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “&[User]” の文字列を表示します。

(11) [マシン名]ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置にマシン名を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “&[PCName]” の文字列を表示します。

(12) [日付]ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置に日付を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “&[Ldate]” の文字列を表示します。

(13) [時刻]ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置に時刻を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “&[Time]” の文字列を表示します。

(14) [ページ番号] ボタン

機能

- ・入力ボックスのカーソル位置にページ番号を挿入します。

操作

- ・ボタンを押すと、入力ボックスに “[Page]” の文字列を表示します。

(15) [OK] ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(16) [キャンセル] ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

(17) [標準に戻す] ボタン

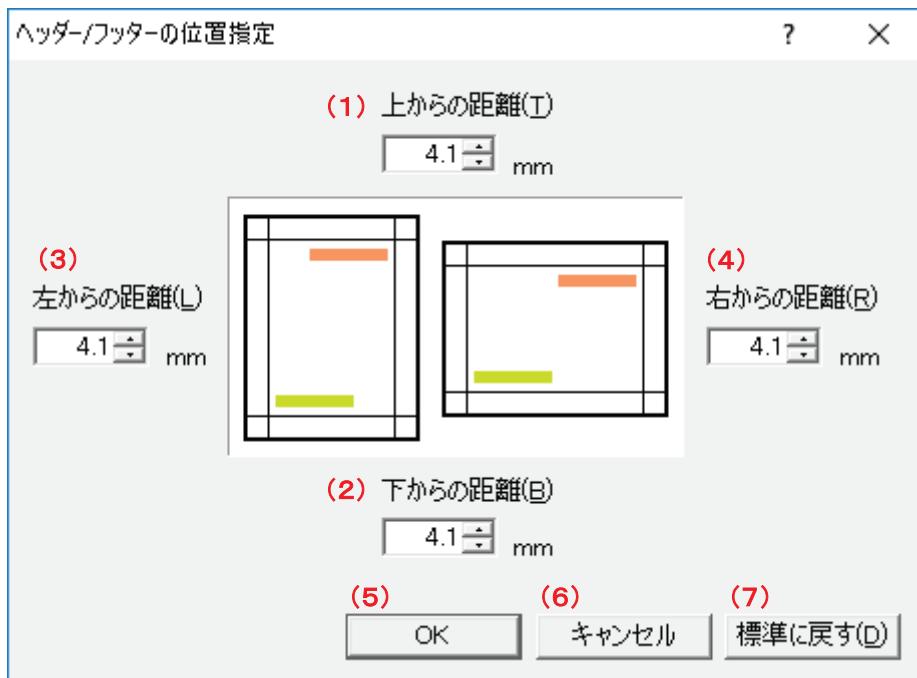
機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

5.2.4.22 [ヘッダー/フッターの位置指定] ダイアログ

[ヘッダー/フッターの位置指定] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.2.4.22 [ヘッダー/フッターの位置指定]ダイアログ



(1)、(2)、(3)、(4) [印刷位置]入力ボックス

機能

- ・ヘッダー／フッターの印字位置を指定します。
- ・面、または原稿の上端、左端、下端、右端からのそれぞれの距離で指定します。
- ・ヘッダーの印字位置は、上端、左端、右端の値で決定します。
- ・フッターの印字位置は、下端、左端、右端の値で決定します。

操作

- ・0.0～50.0 の半角数字で指定します。0.1 ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“4.1”ミリになっています。

(5) [OK] ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(6) [キャンセル] ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

(7) [標準に戻す]ボタン

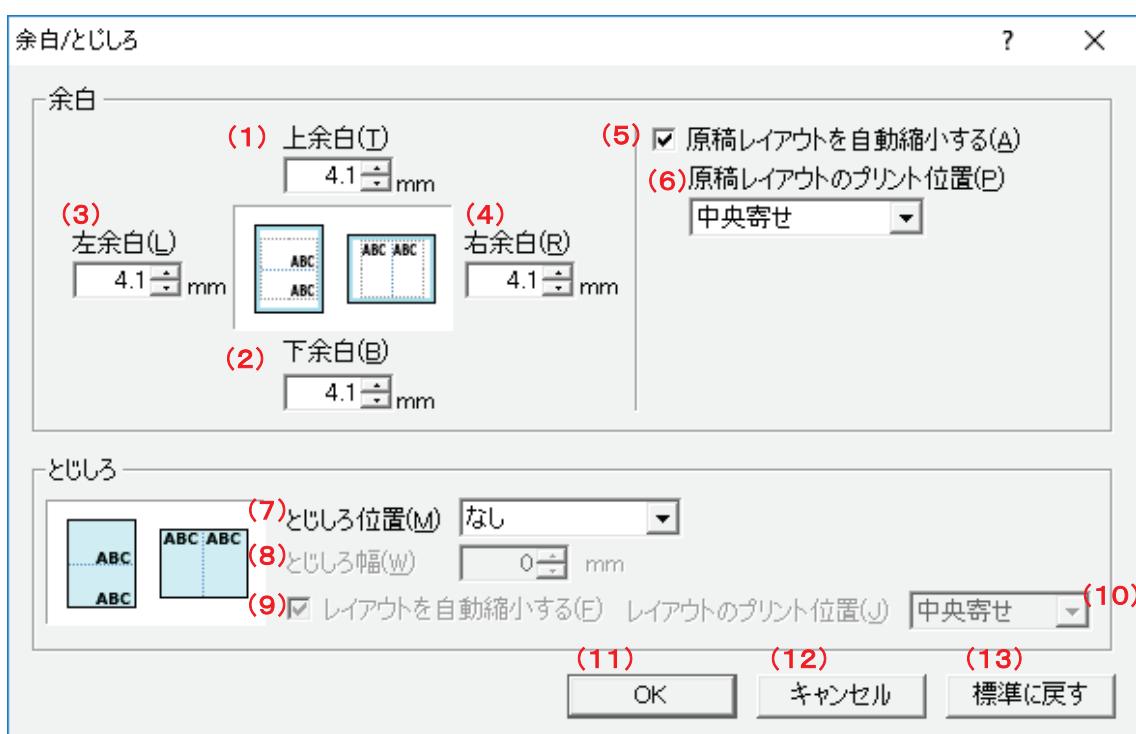
機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

5.2.4.23 [余白/とじしろ] ダイアログ

[余白/とじしろ] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.2.4.23 [余白/とじしろ] ダイアログ



(1)、(2)、(3)、(4) [余白] 入力ボックス

機能

- ・用紙の表面、または裏面の余白を指定します。

操作

- ・0.0～50.0 の半角数字で指定します。0.1 ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“4.1”ミリになっています。

(5) [原稿レイアウトを自動縮小する] チェックボックス

機能

- ・余白を指定した印字エリア内に、原稿レイアウトが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・“する”(ON)を選択しても、以下の印刷設定については、余白を指定した印字エリア内に自動縮小しません。印字位置などの印字体裁は、各印刷項目の設定内容に依存します。
 - 面フォームオーバーレイ印刷
 - ウォーターマーク印刷
- ・“しない”(OFF)を選択すると、原稿レイアウトの一部が印字エリア内に収まらず欠けることがあります。

操作

- ・印字エリア内に原稿レイアウトが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

(6) [原稿レイアウトのプリント位置] コンボボックス

機能

- ・[原稿レイアウトを自動縮小する] チェックボックスを選択した場合に、原稿レイアウトの配置を指定します。
- ・[上寄せ／右寄せ]を選択した場合、面の上辺、または右辺に寄せて配置します。
- ・[下寄せ／左寄せ]を選択した場合、面の下辺、または左辺に寄せて配置します。
- ・[中央寄せ]を選択した場合、面の中央に寄せて配置します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
 - 上寄せ／右寄せ
 - 中央寄せ
 - 下寄せ／左寄せ
- ・初期値は、[中央寄せ]になっています。

(7) [とじしろ位置] コンボボックス

機能

- ・とじしろの位置を指定します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
 - なし

左とじ

上とじ

右とじ

下とじ

- ・初期値は、[なし]になっています。

(8) [とじしろ幅] 入力ボックス

機能

- ・[とじしろ位置]コンボボックスにてとじしろ位置を指定した場合に、とじしろの幅を指定します。

操作

- ・0～50 の半角数字で指定します。1 ミリ単位で指定できます。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は、“0”ミリになっています。

(9) [レイアウトを自動縮小する] チェックボックス

機能

- ・とじしろを指定した印字エリア内に、面レイアウトが収まるように自動的に縮小するかどうかを指定します。
- ・“しない”(OFF)を選択すると、面レイアウトの一部が印字エリア内に収まらず欠けることがあります。

操作

- ・印字エリア内に面レイアウトが収まるように自動的に縮小して印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は、“縮小する”(ON)になっています。

(10) [レイアウトのプリント位置] コンボボックス

機能

- ・[レイアウトを自動縮小する] チェックボックスを選択した場合に、面レイアウトの配置を指定します。
- ・[上寄せ／右寄せ]を選択した場合、用紙の上辺、または右辺に寄せて配置します。
- ・[下寄せ／左寄せ]を選択した場合、用紙の下辺、または左辺に寄せて配置します。
- ・[中央寄せ]を選択した場合、用紙の中央に寄せて配置します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。

上寄せ／右寄せ

中央寄せ

下寄せ／左寄せ

- ・初期値は、[中央寄せ]になっています。

(11) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(12) [キャンセル]ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

(13) [標準に戻す]ボタン

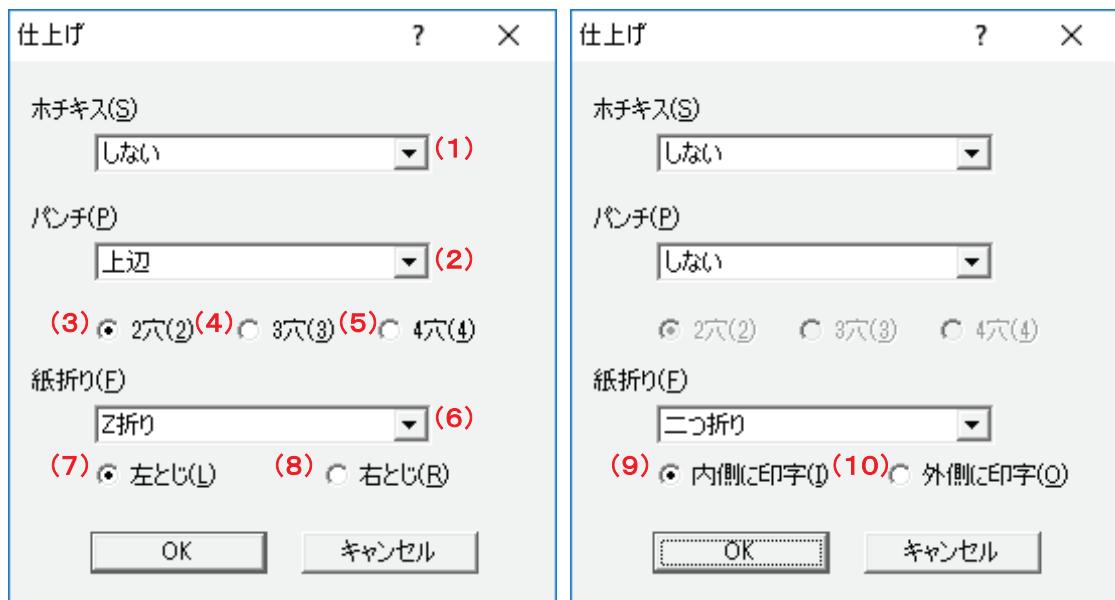
機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

5.2.4.24 [仕上げ] ダイアログ

[仕上げ] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.2.4.23 [仕上げ]ダイアログ



(1) [ホチキス]コンボボックス

機能

- ・ホチキス止めの位置を選択します。

操作

- ・初期値は、[しない]になっています。

(2) [パンチ]コンボボックス

機能

- ・パンチの穴あけ位置を選択します。

操作

- ・初期値は、[しない]になっています。
- ・[しない]以外を選択した場合、パンチ穴の数が指定可能になります。

(3) [2穴]ラジオボタン

(4) [3穴]ラジオボタン

(5) [4穴]ラジオボタン

機能

- ・[パンチ]コンボボックスにてパンチの穴あけ位置を選択した場合、パンチ穴の数を指定します。
- ・[2穴]、[3穴]、[4穴]が選択できます。

操作

- ・[パンチ]コンボボックスにて[しない]以外を選択した場合に表示します。

- ・初期値は、[2穴]になっています。

(6) [紙折り]コンボボックス

機能

- ・紙の折り方を選択します。

操作

- ・初期値は、[しない]になっています。

(7) [左とじ]ラジオボタン

(8) [右とじ]ラジオボタン

機能

- ・[紙折り]コンボボックスにて[Z折り]を選択した場合、とじ位置を指定します。
- ・[左とじ]を選択した場合、とじ位置が左側になるように紙を折ります。
- ・[右とじ]を選択した場合、とじ位置が右側になるように紙を折ります。

操作

- ・初期値は、[左とじ]になっています。

(9) [内側に印字]コンボボックス

(10) [外側に印字]コンボボックス

機能

- ・[紙折り]コンボボックスにて[外三つ折り]、[内三つ折り]、[二つ折り]を選択した場合、印刷面を指定します。
- ・[内側に印字]を選択した場合、印刷面が内側になるように紙を折ります。
- ・[外側に印字]を選択した場合、印刷面が外側になるように紙を折ります。
- ・出力するプリンタに印字面の選択機能がない場合、本項目の設定に関わらずプリンタの折り方に従います。

操作

- ・初期値は、[内側に印字]になっています。

5.3 印刷操作

DocPoem からの印刷は、プリンタビューに表示されているプリンタアイコンをクリックすることによって行います。

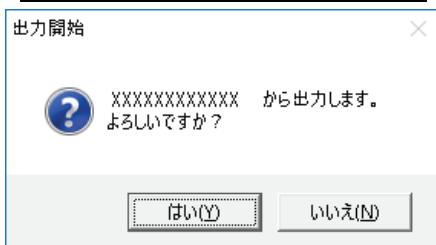
設定された印刷属性で出力可能なプリンタのみ選択可能になりますが、プリンタアイコンをクリックすると、プリンタの状態に応じて以下のいずれかのメッセージを表示して印

刷実行の意思を確認します。

(1) プリンタ正常時

選択されたプリンタから印刷を開始します。

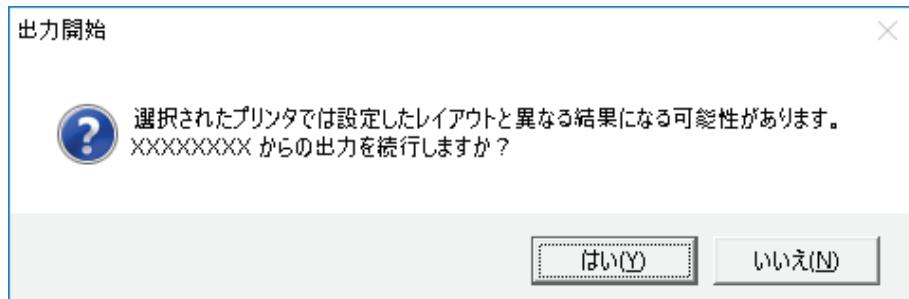
図 5.3 – (1) [出力開始]メッセージ



(2) 未サポートプリンタ時

DocPoemがサポートしていないプリンタからの出力を行う場合、使用するプリンタの能力やプリンタドライバ既定の設定内容によっては、設定した印刷属性と異なる出力結果が得られる可能性を注意します。

図 5.3 – (2) [出力開始]メッセージ



5.4 環境設定

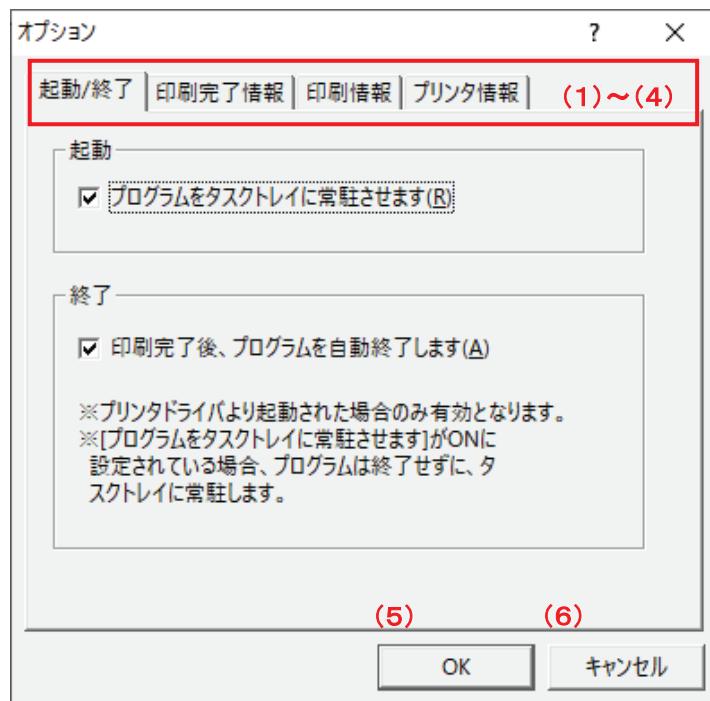
DocuPoem の動作環境を設定します。

メニューバーの「ツール」 - 「オプション」メニューを選択するか、標準 2 ツールバーの「オプション」ボタンをクリックして「オプション」ダイアログを開きます。

5.4.1 [オプション] ダイアログ

[オプション] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1 [オプション]ダイアログ



(1) [起動／終了]タブ

(2) [印刷完了情報]タブ

(3) [印刷情報]タブ

(4) [プリンタ情報]タブ

(5) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(6) [キャンセル]ボタン

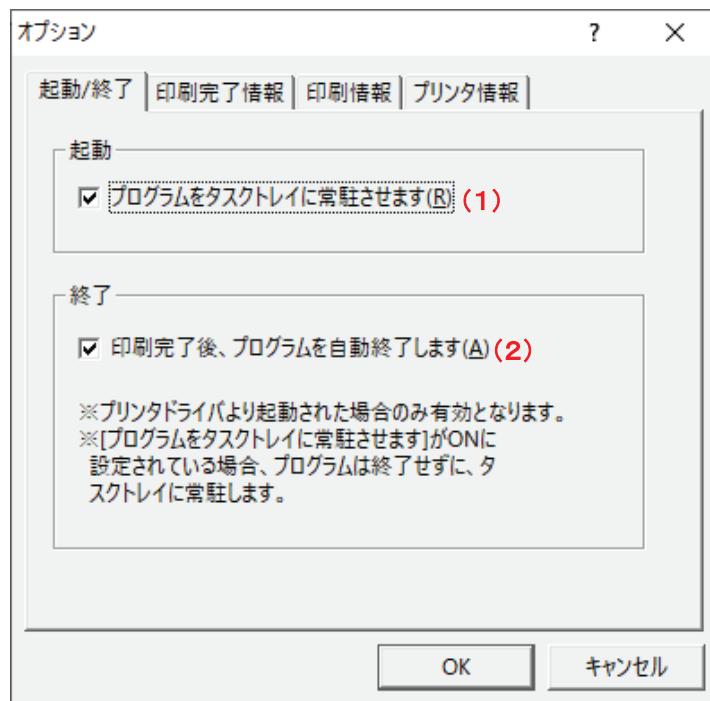
機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

5.4.1.1 [起動/終了] タブ

[オプション] ダイアログ [起動/終了] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1.1 [起動/終了] タブ



(1) [プログラムをタスクトレイに常駐させます] チェックボックス

機能

- ・プログラムをタスクトレイに常駐するかどうかを指定します。

操作

- ・タスクトレイに常駐する場合にチェックします。

(2) [印刷完了後、プログラムを自動終了します] チェックボックス

機能

- ・印刷が完了した場合、プログラムを自動終了するかどうかを指定します。
- ・プリンタドライバより起動された場合のみ有効となります。
- ・[プログラムをタスクトレイに常駐させます]が ON に設定されている場合、プログラムは終了せずに、タスクトレイに常駐します。

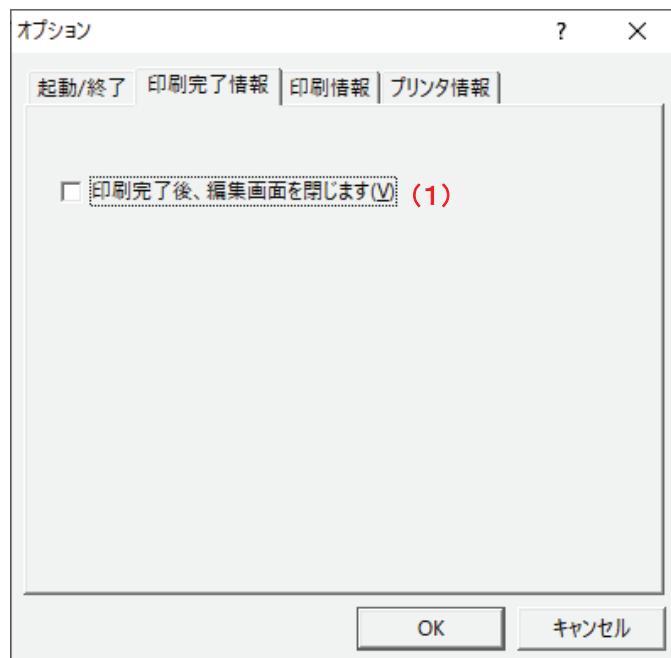
操作

- ・プログラムを自動終了する場合にチェックします。

5.4.1.2 [印刷完了情報] タブ

[オプション] ダイアログ [印刷完了情報] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1.2 [印刷完了情報] タブ



(1) [印刷完了後、編集画面を閉じます] チェックボックス

機能

- 印刷が完了した場合、編集画面を閉じるかどうかを指定します。

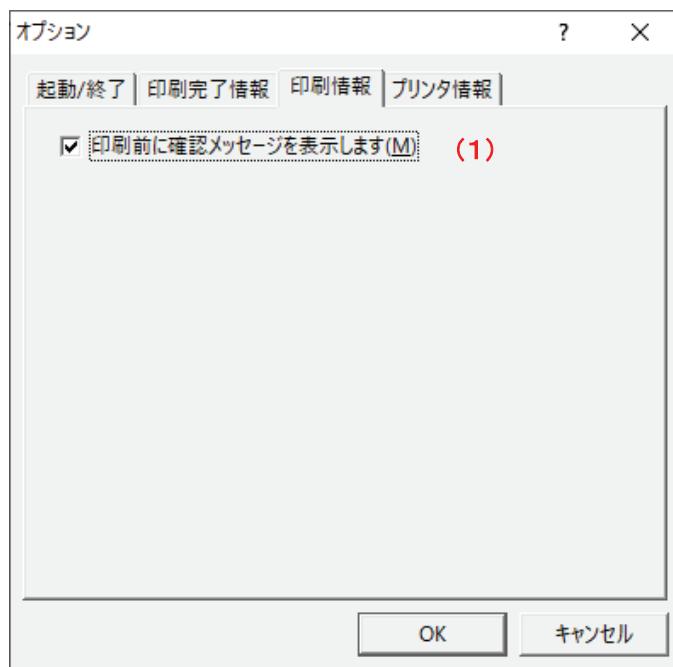
操作

- 編集画面を閉じる場合にチェックします。

5.4.1.3 [印刷情報] タブ

[オプション] ダイアログ [印刷情報] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1.3 [印刷情報] タブ



(1) [印刷前に確認メッセージを表示します] チェックボックス

機能

- 印刷を開始する前に確認メッセージを表示するかどうかを指定します。

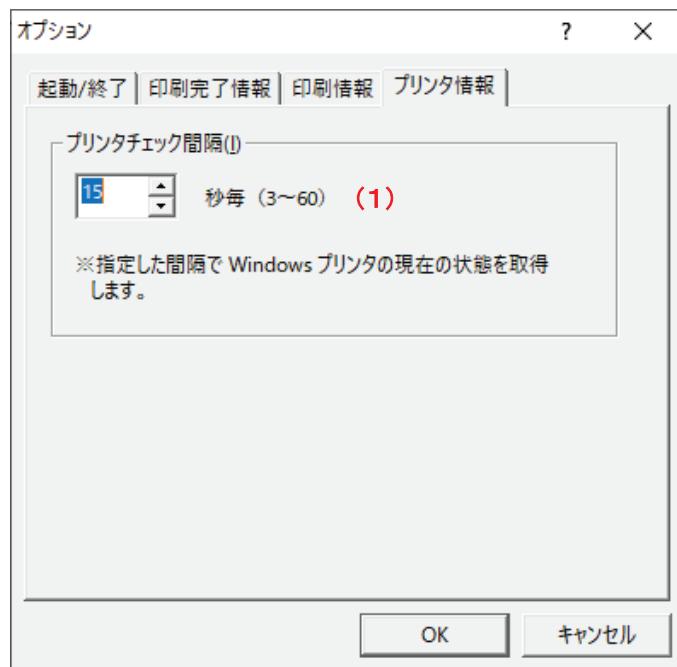
操作

- 確認メッセージを表示する場合にチェックします。

5.4.1.4 [プリンタ情報] タブ

[オプション] ダイアログ [プリンタ情報] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 5.4.1.4 [プリンタ情報] タブ



(1) [プリンタチェック間隔] 入力ボックス

機能

- ここで指定した間隔で Windows プリンタの現在の状態を取得します。

操作

- 3~60 の半角数字で指定します。1 秒単位で指定できます。
- キーまたは、スピンボタンで入力します。
- 推奨値は 15 秒です。

5.5 終了方法

DocPoem は、以下のいずれかの方法で終了します。

DocPoem の環境設定で、タスクトレイへの常駐機能が ON になっている場合、終了操作を行うと Windows のタスクトレイに収められます。

(1) メニューバー

メニューバーから [ファイル] - [終了] メニューを選択します。

(2) ツールバー

標準2ツールバーの [プログラムの終了] ボタンをクリックします。

(3) 自動終了

DocPoemの環境設定で、印刷完了後の自動終了機能がONになっている場合、“ACEL DocPoem Image Driver” から起動したDocPoemは印刷後に自動終了します。

(4) タスクトレイメニュー

DocPoemがタスクトレイに常駐している場合、タスクトレイメニューの [終了] メニューを選択することによってプログラムは完全に終了します。

6. プレビュー画面操作

レイアウトビューは、[印刷原稿]、[仕上がりイメージ] の 2 種類のプレビュー画面で構成しています。

各画面の操作方法について説明します。

6.1 共通の操作

プレビュー画面共通の操作について説明します。

(1) 原稿の選択

プレビュー内の表示内容を左クリックすると、原稿を選択することができます。

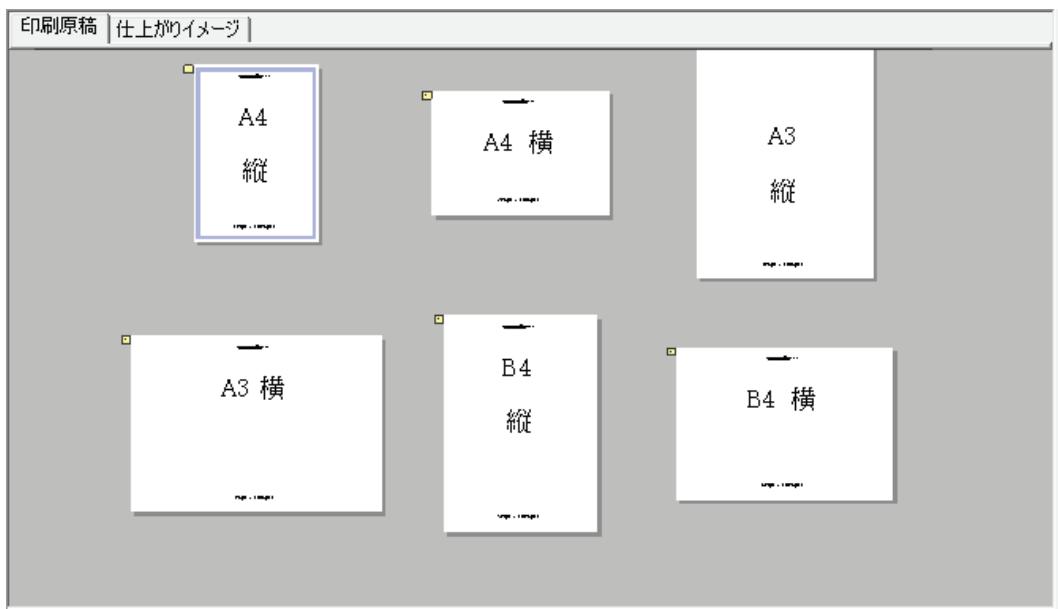
(2) 右マウスメニュー

プレビュー内の表示内容を右クリックすると、右マウスメニューが表示され、印刷属性等を変更することができます。

6.2 [印刷原稿] ビュー

DocPoemへ取り込んだ原稿そのもののへのレイアウト編集が行えます。
取り込んだ原稿のサイズ／向き／内容を、視覚的にわかり易く表示します。

図 6.2 [印刷原稿] ビュー



6.2.1 原稿への操作

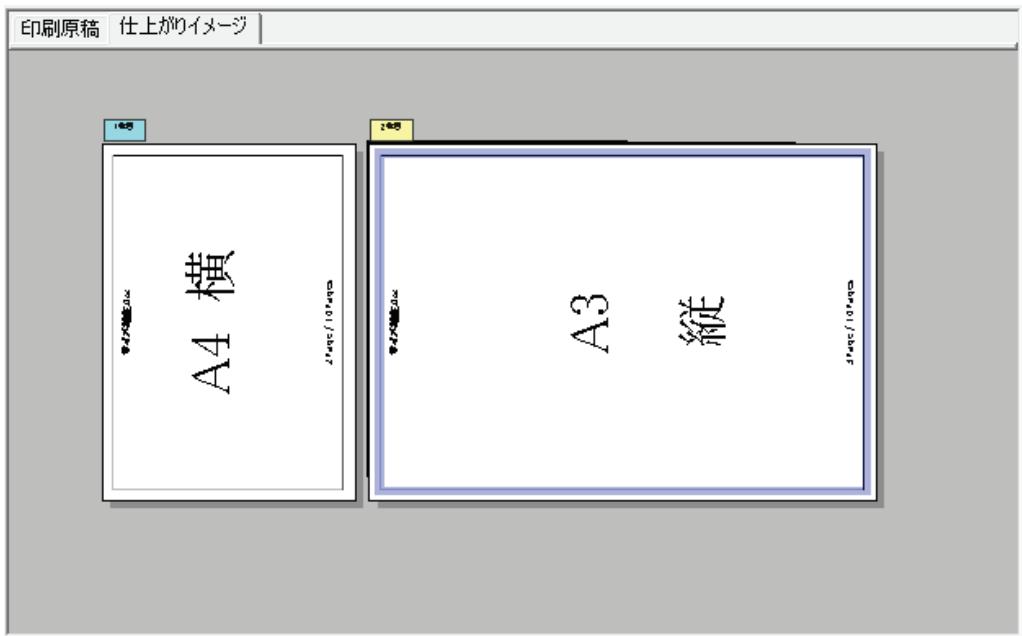
ここでは、以下の操作が行えます。

- (1) 原稿の単独／複数選択
- (2) 選択原稿の削除

6.3 [仕上がりイメージ] ビュー

レイアウト編集結果を、プリンタへの出力結果として画面上で表示します。
また、ホチキス／パンチ／紙折りを、画面上のイメージで位置を確認できます。
表示内容を以下に説明します。

図 6.3 [仕上がりイメージ]ビュ(見開き表示)



6.3.1 片面表示

出力結果が片面のみの場合、常に片面のみを表示します。

6.3.2 見開き表示

出力結果を両面見開きのイメージで表示します。

6.3.3 冊子表示

「小冊子印刷」が指定されている場合、常にこの表示になります。

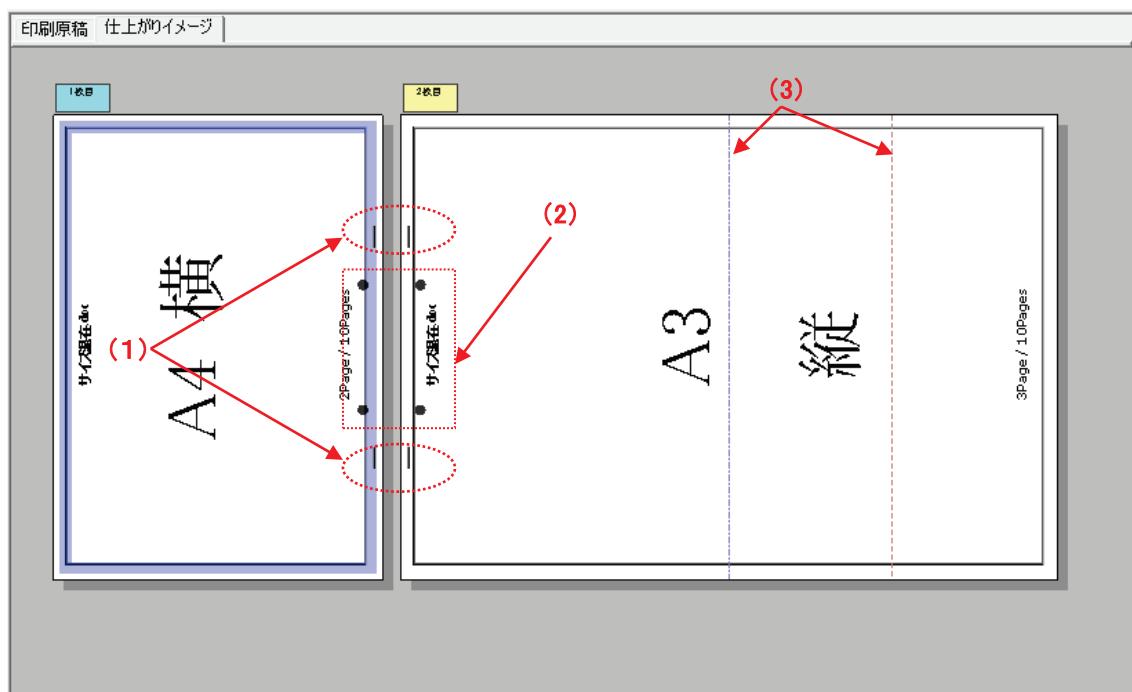
6.3.4 仕上がりイメージでの操作

仕上がりイメージで行える操作について説明します。

6.3.4.1 ホチキス／パンチ／紙折りの指定

ツールバー、メニューなどでホチキス／パンチ／紙折りの設定を行うと、設定の結果を画面上で確認できます。

図 6.3.4.1 ホチキス／パンチ／紙折りの設定



(1)ホチキス（上図の例は「左 2 箇所」）

(2)パンチ（上図の例は「左2穴」）

(3)紙折り（上図の例は「Z折り」）

・青線…谷折り

・赤線…山折り

6.4 プレビューメニュー

プレビュー画面で表示される右マウスメニューのメニュー構成および、操作について説明します。

(1) [削除]

「5.2.3.1 削除」を参照してください。

(2) [元に戻す]

「5.2.2.1 元に戻す」を参照してください。

(3) [やり直し]

「5.2.2.2 やり直し」を参照してください。

(4) [両面]

「5.2.4.1 両面/片面」、

「5.2.4.2 長辺とじ/短辺とじ」を参照してください。

(5) [まとめて 1 枚]

「5.2.4.3 まとめて 1 枚のレイアウト」、

「5.2.4.4 まとめて 1 枚の割り付け順」を参照してください。

(6) [用紙サイズ]

「5.2.4.6 用紙サイズ」を参照してください。

(7) [給紙トレイ]

「5.2.4.7 紙折り」を参照してください。

(8) [ホチキス]

「5.2.4.14 ホチキス」を参照してください。

(9) [パンチ]

「5.2.4.15 パンチ」、

「5.2.4.16 パンチ穴数」を参照してください。

(10) [紙折り]

「5.2.4.17 紙折り」を参照してください。

(11) [小冊子印刷]

「5.2.4.18 小冊子印刷」を参照してください。

(12) [罫線補正]

機能

- ・罫線の描画補正の有効／無効を切り替えます。

操作

- ・罫線補正を有効にしている場合はチェックマークが付きます。

(13) [お気に入り一覧]

「7. お気に入り」を参照してください。

6.5 範囲選択モードメニュー

範囲選択モード時にプレビュー画面で表示される右マウスマENUのメニュー構成および、操作について説明します。

(1) [座標コピー]

機能

- ・範囲選択した座標をクリップボードにコピーします。
- ・コピーした座標情報は、EDPdriver EX のルールエディタで使用できます。

(2) [座標貼り付け]

機能

- ・クリップボード上の座標情報を、範囲選択矩形として画面上に反映させます。

(3) [テキスト抽出]

機能

- ・選択範囲内に含まれているテキスト情報をクリップボードにコピーします。

(4) [ページテキスト抽出]

機能

- ・現在のページのテキスト情報をクリップボードにコピーします。

(5) [定型サイズ選択]

機能

- ・範囲選択の矩形の大きさを定型サイズから選択します。

(6) [原稿の原点に合わせる]

機能

- ・範囲選択している座標の原点を原稿の原点位置に移動します。

7. お気に入り

お気に入りの操作方法について説明します。

お気に入りは、よく使用する印刷属性の設定をあらかじめ登録しておく機能です。複雑な印刷属性の設定も、お気に入りに登録しておけば簡単な操作で再現することができます。

7.1 お気に入りの登録

「お気に入り」は、「お気に入りの登録」ダイアログから登録します。

メニューバーから [ツール] – [お気に入りの登録] メニューを選択するか、お気に入りツールバーの [お気に入りの登録] ボタンをクリックします。

7.1.1 [お気に入りの登録] ダイアログ

[お気に入りの登録] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 7.1.1 [お気に入りの登録] ダイアログ



(1) [名前] 入力ボックス

機能

- 登録するお気に入りの名前を指定します。

操作

- 名前の文字数は、半角 32 文字(全角 16 文字)以内です。
- 名前の文字に「~」は使用できません。

(2) [現在のアイコン] イメージボックス

機能

- ・現在使用しているアイコンを表示します。

(3) [アイコンの変更]ボタン

機能

- ・登録するお気に入りのツールバー上に表示されるアイコンを変更します。

操作

- ・[アイコンの変更]ダイアログを表示します。

(4) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(5) [キャンセル]ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

7.2 お気に入りの適用

登録されている「お気に入り」は、お気に入り一覧ツールバーに登録されたボタンをクリックすることによって、該当するお気に入りの設定が現在DocPoemに取り込まれている文書全体に適用されます。

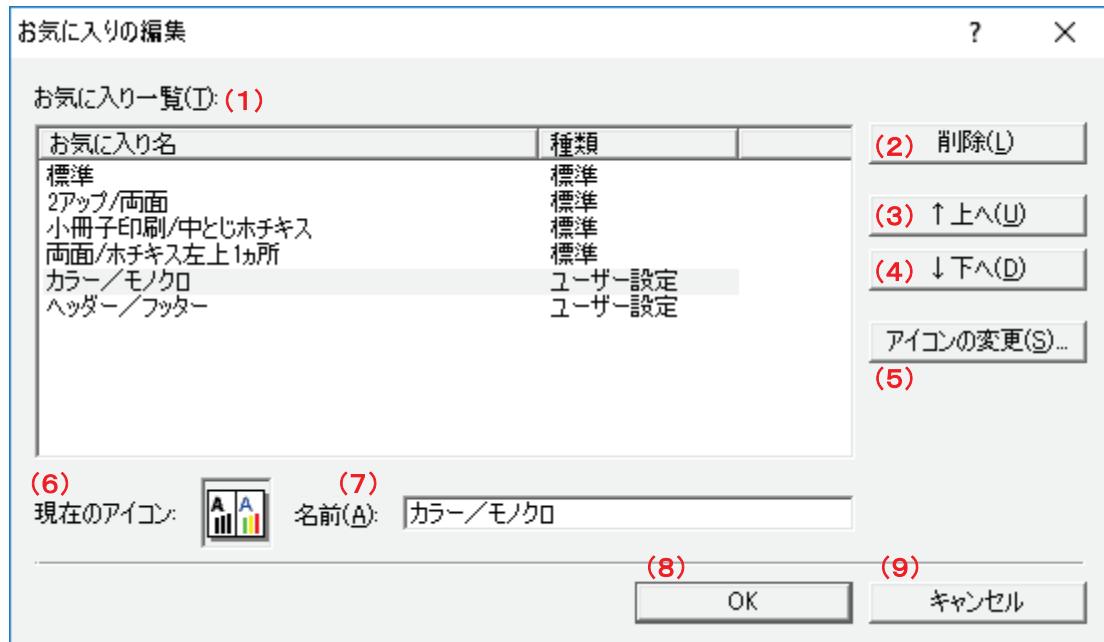
7.3 お気に入りの編集

登録した「お気に入り」は、ボタンの表示順序や名前、表示アイコンを変更することができます。

7.3.1 [お気に入りの編集] ダイアログ

[お気に入りの編集] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 7.3.1 [お気に入りの編集]ダイアログ



(1) [お気に入り一覧] チェックリストボックス

機能

- ・登録されているお気に入りを一覧表示します。
- ・[お気に入り名]、[種類]を表示します。
- ・[お気に入り名]は登録されているお気に入りの名前を表示します。
- ・[種類]は標準のお気に入りの場合は“標準”、ユーザーが作成したお気に入りの場合は“ユーザー設定”と表示します。

(2) [削除] ボタン

機能

- ・[お気に入り一覧]で選択しているお気に入りを[お気に入り一覧]から削除します。また、ツールバー上からも削除します。

操作

- ・[種類]が“ユーザー設定”的場合のみ設定することができます。

(3) [上へ] ボタン

機能

- ・[お気に入り一覧]で選択したお気に入りの位置を上に移動します。また、ツールバー上では左に移動します。

(4) [下へ]ボタン

機能

- ・[お気に入り一覧]で選択したお気に入りの位置を下に移動します。また、ツールバー上では右に移動します。

(5) [アイコンの変更]ボタン

機能

- ・[お気に入り一覧]で選択したお気に入りのツールバー上に表示されるアイコンを変更します。

操作

- ・[アイコンの変更]ダイアログを表示します。

(6) [現在のアイコン]イメージボックス

機能

- ・現在使用しているアイコンを表示します。

(7) [名前]入力ボックス

機能

- ・[お気に入り一覧]で選択しているお気に入りの名前を表示します。また、お気に入りの名前は変更することができます。

操作

- ・名前の文字数は、半角 32 文字(全角 16 文字)以内です。
- ・名前の文字に「~」は使用できません。
- ・[種類]が“ユーザー設定”的場合のみ設定することができます。

(8) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(9) [キャンセル]ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

7.3.1.1 [アイコンの変更] ダイアログ

[アイコンの変更] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 7.3.1.1 [アイコンの変更] ダイアログ



(1) [アイコン一覧]リストボックス

機能

- ・ツールバー上に表示されるアイコンイメージを一覧表示します。

操作

- ・変更したいアイコンを選択します。

(2) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(3) [キャンセル]ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

8. プリンタビュー画面操作

プリンタビューの操作方法について説明します。

印刷に最適なプリンタを簡単操作で把握できることを目的とした状態表示と、印刷の実行および印刷方法の設定を行います。

使用可能なプリンタを一覧表示することができます。

8.1 プリンタの自動生成

DocPoemがプリンタビュー上に自動で生成する物理プリンタ、およびDocuWorks Printerについて説明します。

（1）物理プリンタ

下記の条件を満たすWindowsプリンタは、DocPoem内でのみ有効な物理プリンタとして1つにまとめられ、プリンタビュー上に自動生成します。

- ①使用するプリンタドライバがサポート対象のものであること。
- ②使用するポートからIPアドレスが解決できること。
- ③使用するポートのIPアドレスが同じであること。
- ④使用するプリンタドライバ名が同じであること。

（2）DocuWorks Printer

- ・Windows上にDocuWorks Printerが存在する場合、削除／変更が不可能な仮想プリンタとしてDocuWorks Printerをプリンタビュー上に自動生成します。
- ・プリンタ名の変更のみ可能です。

8.2 画面

プリンタビュー画面の表示内容について説明します。

(1) [プリンタアイコン]

機能

- ・プリンタの状態及び種類をアイコンで表示します。
- ・以下のアイコンは、プリンタの種類を表します。

アイコン	説明
	物理プリンタを表します。
	DocuWorks Printerを除くサポート対象プリンタ1台で構成されている仮想プリンタを表します。
	サポート対象外の論理プリンタおよび、DocuWorks Printerで構成されている仮想プリンタを表します。
	複数台の物理プリンタ／論理プリンタで構成されている仮想プリンタを表します。

- ・以下のアイコンはプリンタの状態を表します。プリンタの種類を表すアイコンと組み合わせて表示されます。

アイコン	説明
	プリンタは正常です。
	構成する物理プリンタや論理プリンタの削除によりプリンタは使用できない状態にあります。

(2) [プリンタ名]

機能

- ・プリンタ名を表示します。

(3) [アドレス]

機能

- ・プリンタのIPアドレスを表示します。

- ・複数の物理プリンタ／論理プリンタを使用するよう設定されている仮想プリンタの場合、物理プリンタ／論理プリンタの IP アドレスを優先の高いプリンタのものから順に列挙します。
- ・大きいアイコン表示の場合は表示されません。

(4) [プリンタドライバ名]

機能

- ・使用しているプリンタドライバ名を表示します。
- ・複数の物理プリンタ／論理プリンタを使用するよう設定されている仮想プリンタの場合、物理プリンタ／論理プリンタのプリンタドライバ名を優先の高いプリンタのものから順に列挙します。
- ・大きいアイコン表示の場合は表示されません。

(5) [ポート名]

機能

- ・使用しているプリンタポート名を表示します。
- ・複数の物理プリンタ／論理プリンタを使用するよう設定されている仮想プリンタの場合、物理プリンタ／論理プリンタのポート名を優先の高いプリンタのものから順に列挙します。
- ・大きいアイコン表示の場合は表示されません。

8.3 印刷

プリンタビューのプリンタアイコン部分をクリックすることによって、現在開かれている文書の内容を選択したプリンタから印刷します。

8.3.1 出力機能

DocPoemでサポートする印刷機能について説明します。

(1) 通常出力

- ・DocPoem で通常使用する印刷機能です。
- ・物理プリンタの場合、物理プリンタで使用する Windows プリンタオブジェクトから出力します。
- ・仮想プリンタの場合、仮想プリンタを構成する物理プリンタ／論理プリンタの中で優先順位が最も高いプリンタから出力します。

(2) 同報出力

- 同一文書を複数のプリンタから出力します。
- 仮想プリンタでのみ設定可能な出力方法です。
- 物理プリンタ／論理プリンタの両方を含むことができますが、物理プリンタは仮想プリンタの作成時にプリンタとの通信に成功している必要があります。
- レイアウト属性が再現できないプリンタが含まれている場合、出力のためにプリンタを選択することはできません。

8.4 プリンタビューメニュー

プリンタビュー画面で表示される右マウスメニューのメニュー構成および、操作について説明します。

(1) [大きいアイコンで表示]

機能

- ・プリンタを大きいアイコンで表示します。

操作

- ・大きいアイコンで表示している場合はチェックマークが付きます。

(2) [一覧で表示]

機能

- ・プリンタを一覧表示します。

操作

- ・一覧で表示している場合はチェックマークが付きます。

(3) [アイコンの整列]—[プリンタ名順]

機能

- ・アイコン表示されたプリンタをプリンタ名順に並び替えます。

操作

- ・プリンタビューが大きいアイコンで表示されている場合にのみメニュー表示されます。
- ・プリンタ名順で並び替えられている時はチェックマークが付きます。

(4) [最新の情報に更新]

機能

- ・プリンタビューの内容を最新の情報に更新します。Windows プリンタオブジェクトの数によっては、最新の情報で表示内容が更新されるまでに時間がかかる場合があります。

(5) [追加]

機能

- ・ウィザード形式のダイアログで仮想プリンタを追加します。

操作

- ・「仮想プリンタの追加」ウィザードを表示します。

(6) [削除]

機能

- ・選択されている仮想プリンタを削除します。

操作

- ・DocPoem が自動生成した DocuWorks Printer および物理プリンタでは選択できません。

(7) [名前の変更]

機能

- ・選択されているプリンタのプリンタ名を変更します。

操作

- ・最大半角で 64 文字の半角、または全角文字が指定可能です。
- ・すでにプリンタビュー内で使用されているプリンタ名は使用することができません。

(8) [セキュリティプリントする]

機能

- ・セキュリティプリント実行の有無を切り替えます。

操作

- ・セキュリティプリントの実行に必要な情報が不足している場合は、[セキュリティプリント設定]ダイアログを表示して情報の入力を促します。

(9) [セキュリティプリント設定]

機能

- ・セキュリティプリントの実行に必要な情報を設定します。

操作

- ・「セキュリティプリント設定」ダイアログを表示します。

(10) [認証情報設定]

機能

- ・ユーザ認証に必要な情報を設定します。

操作

- ・「認証情報設定」ダイアログを表示します。

(11) [プロパティ]

機能

- ・物理プリンタ／仮想プリンタの設定の表示／変更を行います。

操作

- ・選択されているプリンタが物理プリンタの場合、[物理プリンタプロパティ]ダイアログを表示します。
- ・選択されているプリンタが仮想プリンタの場合、[仮想プリンタプロパティ]ダイアログを表示します。

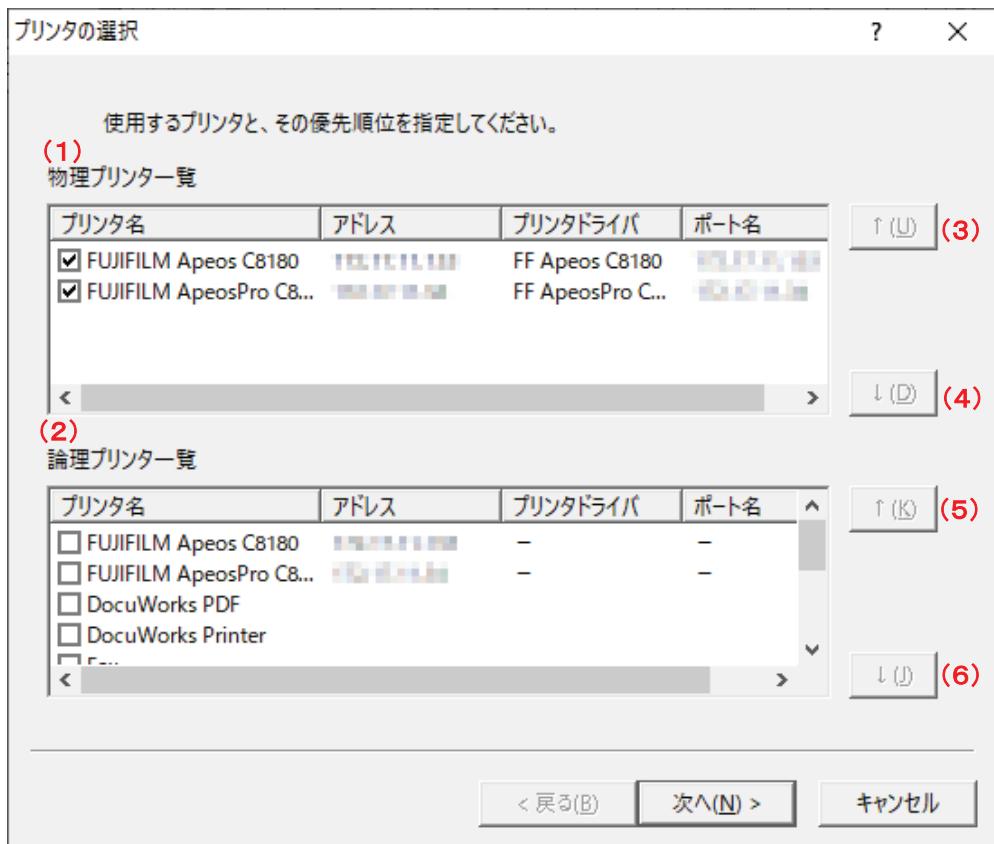
8.4.1 [仮想プリンタの追加] ウィザード

ウィザード形式のダイアログで仮想プリンタを追加します。

8.4.1.1 [プリンタの選択] ダイアログ

[仮想プリンタの追加] ウィザード [プリンタの選択] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.1.1 [プリンタの選択] ダイアログ



(1) [物理プリンタ名] チェックリストボックス

機能

- ・仮想プリンタを構成するために選択可能な物理プリンタを一覧表示します。

操作

- ・一覧のチェックボックスをONにすることで、仮想プリンタが使用する物理プリンタを選択します。

(2) [論理プリンタ名] チェックリストボックス

機能

- ・仮想プリンタを構成するために選択可能な論理プリンタを一覧表示します。

操作

- ・一覧のチェックボックスを ON にすることで、仮想プリンタが使用する論理プリンタを選択します。

(3)、(5) [↑] ボタン

(4)、(6) [↓] ボタン

機能

- ・一覧で選択(強調表示)されているプリンタの優先順位を変更します。

操作

- ・一覧でプリンタを選択(強調表示)し、[↑][↓] ボタンで優先順位を変更します。

8.4.1.2 [出力方法の選択] ダイアログ

[仮想プリンタの追加] ウィザード [出力方法の選択] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.1.2 [出力方法の選択] ダイアログ



(1) [先頭のプリンタから出力] ラジオボタン

(2) [複数のプリンタに同じ内容を出力する] ラジオボタン

機能

- ・仮想プリンタからの出力の方法を選択します。
- ・[先頭のプリンタから出力]を選択した場合、一覧で選択されている先頭のプリンタから出力します。物理プリンタ、論理プリンタの両方が選択されている場合、物理プリンタで選択されている先頭のプリンタから出力します。
- ・[複数のプリンタに同じ内容を出力する]を選択した場合、選択されている全てのプリンタから同じ内容を出力します。物理プリンタが 1 台しか選択されていない場合、選択されている物理プリンタの中に状態取得の実績のないプリンタが含まれている場合はこの出力方法を選択することはできません。

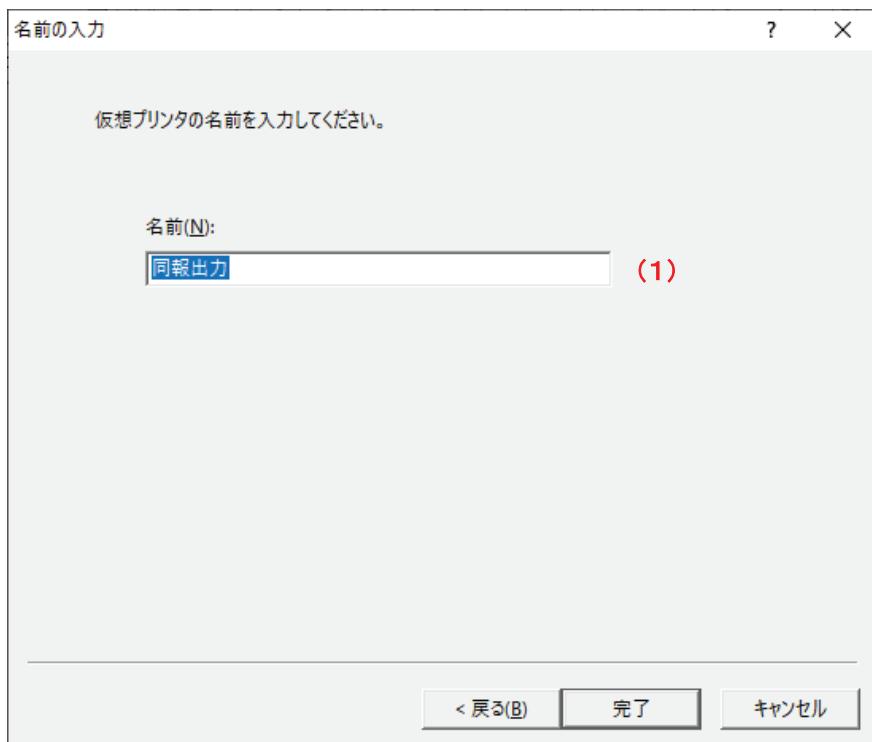
操作

- ・初期値は、[先頭のプリンタから出力]になっています。

8.4.1.3 [名前の入力] ダイアログ

[仮想プリンタの追加] ウィザード [名前の入力] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.1.3 [名前の入力]ダイアログ



(1) [名前]入力ボックス

機能

- ・プリンタビューに表示する仮想プリンタ名を指定します。

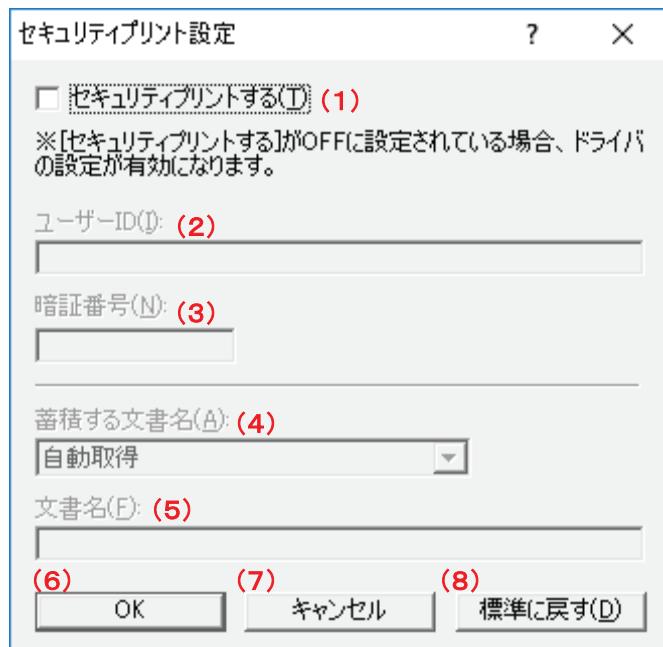
操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で64文字の半角、または全角文字が指定可能です。

8.4.2 [セキュリティプリント設定] ダイアログ

[セキュリティプリント設定] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.3 [セキュリティプリント設定]ダイアログ



(1) [セキュリティプリントする] チェックボックス

機能

- セキュリティプリント設定を行うかどうかを指定します。

操作

- セキュリティプリント設定を行う場合にチェックします。
- “セキュリティプリントしない”(OFF)に設定されている場合、ドライバのセキュリティプリント設定が有効になります。
- 初期値は、“セキュリティプリントしない”(OFF)になっています。

(2) [ユーザーID] 入力ボックス

機能

- セキュリティプリントを使用する場合のユーザーIDを指定します。
- プリンタに蓄積されたデータを印刷する場合、ここで指定したユーザーID がプリンタの操作パネルに表示されます。

操作

- 入力ボックスに直接文字列を入力します。
- [セキュリティプリントする] チェックボックスを選択した場合、ユーザーIDの省略はできません。
- 最大で8文字の半角英数カナ文字が指定可能です。

(3) [暗証番号] 入力ボックス

機能

- ・セキュリティプリントを使用する場合の暗証番号を指定します。
- ・プリンタに蓄積されたデータを印刷する場合、ここで指定した暗証番号の入力が必要になります。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大4桁の半角数字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(4) [蓄積する文書名]コンボボックス

機能

- ・蓄積する文書名の指定方法を選択します。
- ・[自動取得]を選択した場合、プリンタドライバが実行する印刷データのドキュメント名が文書名となります。
- ・[文書名を入力する]を選択した場合、蓄積する文書名を指定できます。

操作

- ・初期値は、[自動取得]になっています。

(5) [文書名]入力ボックス

機能

- ・[蓄積する文書名]コンボボックスにて、[文書名を入力する]を選択した場合に、文書名を指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で12文字の半角英数カナ文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(6) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(7) [キャンセル]ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

(8) [標準に戻す]ボタン

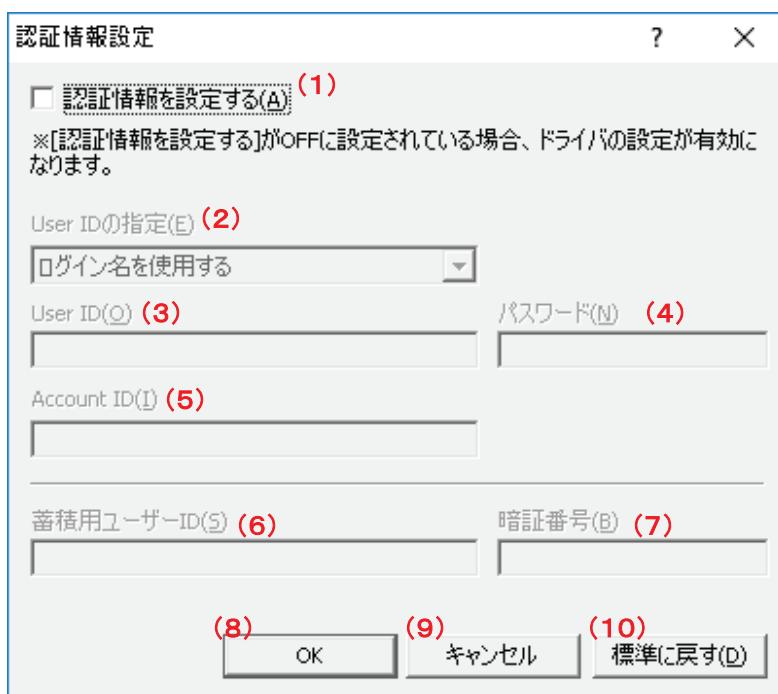
機能

- 各項目の設定を初期値に戻します。

8.4.3 [認証情報設定] ダイアログ

[認証情報設定] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.12.1 [認証情報設定] ダイアログ



(1) [認証情報を設定する] チェックボックス

機能

- 認証情報を設定するかどうかを指定します。
- “認証情報を設定しない”(OFF)に設定されている場合、ドライバの認証情報の設定が有効になります。
- “認証情報を設定しない”(ON)に設定されている場合でも、ドライバの認証情報の設定を変更する権限がない場合にはドライバの設定が有効になります。(ログインユーザーに管理者権限がない場合かつドライバの[認証管理モード設定]が[管理者]だった場合。)
- [認証設定モード]はドライバの設定が有効になります。
- 認証設定方式は[常に同じ認証情報を使用する]固定で出力されます。

操作

- ・認証情報を設定する場合にチェックします。
- ・初期値は、“認証情報を設定しない”(OFF)になっています。

(2) [User ID の指定]コンボボックス

機能

- ・User IDの指定方法を選択します。
- ・[ログイン名を使用する]を選択した場合、Windowsのログイン名をUser IDに使用します。
- ・[IDを入力する]を選択した場合、User IDを指定できます。

操作

- ・初期値は、[ログイン名を使用する]になっています。

(3) [User ID]入力ボックス

機能

- ・認証情報を設定する場合の User ID を指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・[認証情報を設定する]チェックボックスを選択した場合かつ、[User ID の指定]コンボボックスで[IDを入力する]を選択した場合、User ID は省略できません。
- ・最大で32文字の半角文字、または全角文字が指定可能です。

(4) [パスワード]入力ボックス

機能

- ・認証情報を設定する場合のパスワードを指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で12文字の半角英数文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(5) [Account ID]入力ボックス

機能

- ・認証情報を設定する場合のAccount IDを指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で32文字の半角英数文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(6) [蓄積用ユーザID] 入力ボックス

機能

- ・認証情報を設定する場合の蓄積用ユーザIDを指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で24文字の半角文字、または全角文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(7) [暗証番号] 入力ボックス

機能

- ・認証情報を設定する場合の暗証番号を指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大で12文字の半角英数文字が指定可能です。
- ・この項目は省略可能です。

(8) [OK] ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(9) [キャンセル] ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

(11) [標準に戻す] ボタン

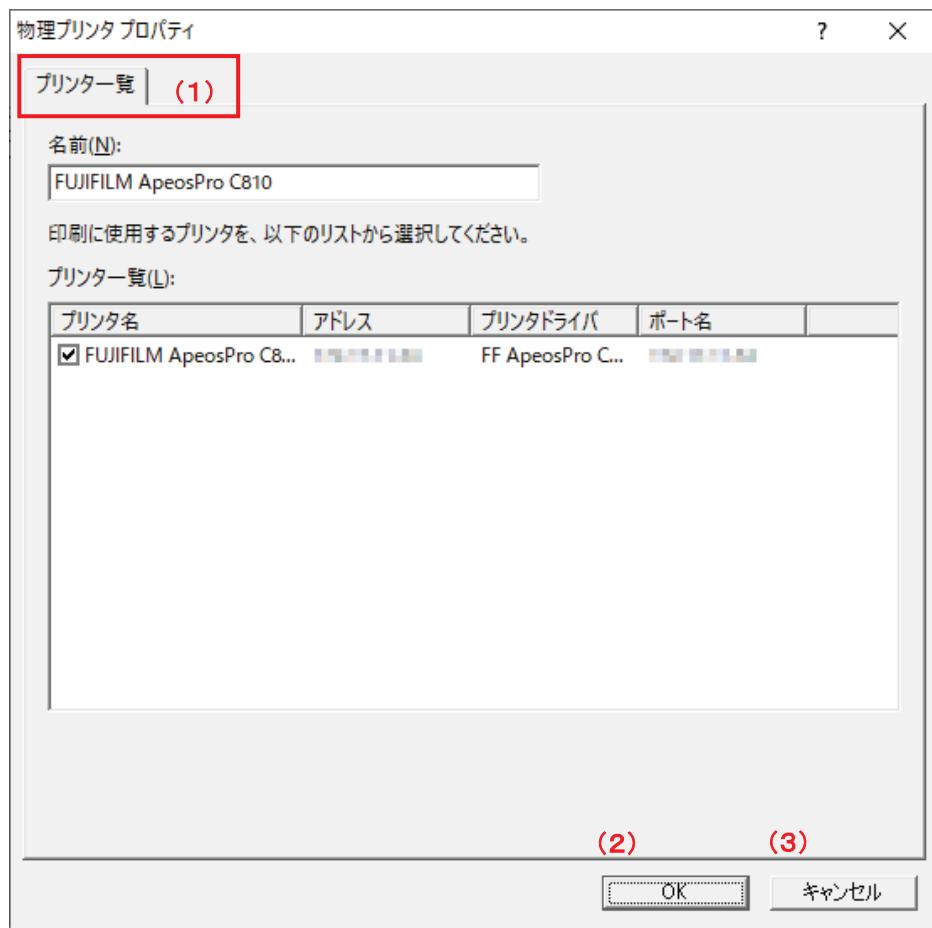
機能

- ・各項目の設定を初期値に戻します。

8.4.4 [物理プリンタプロパティ] ダイアログ

[物理プリンタプロパティ] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.4 [物理プリンタプロパティ] ダイアログ



(1) [プリンタ一覧] タブ

(2) [OK] ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(3) [キャンセル] ボタン

機能

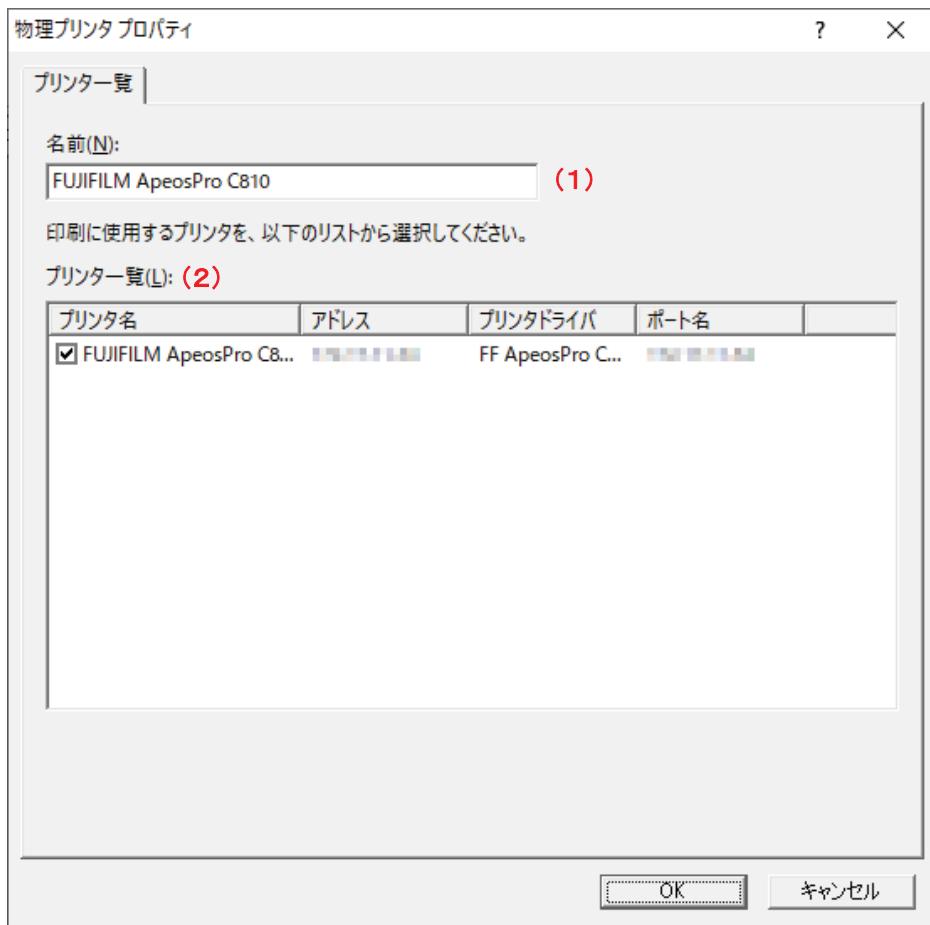
- ・処理を中断し画面を閉じます。

8.4.4.1 [プリンタ一覧] タブ

[物理プリンタプロパティ] ダイアログ [プリンタ一覧] タブの画面体裁、および操作

について説明します。

図 8.4.4.1 [プリンター覧]タブ



(1) [名前]入力ボックス

機能

- ・プリンタビューに表示する物理プリンタ名を指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で64文字の半角、または全角文字が指定可能です。

(2) [プリンター覧]チェックリストボックス

機能

- ・物理プリンタが使用可能なWindowsプリンタアイコンを一覧表示します。

操作

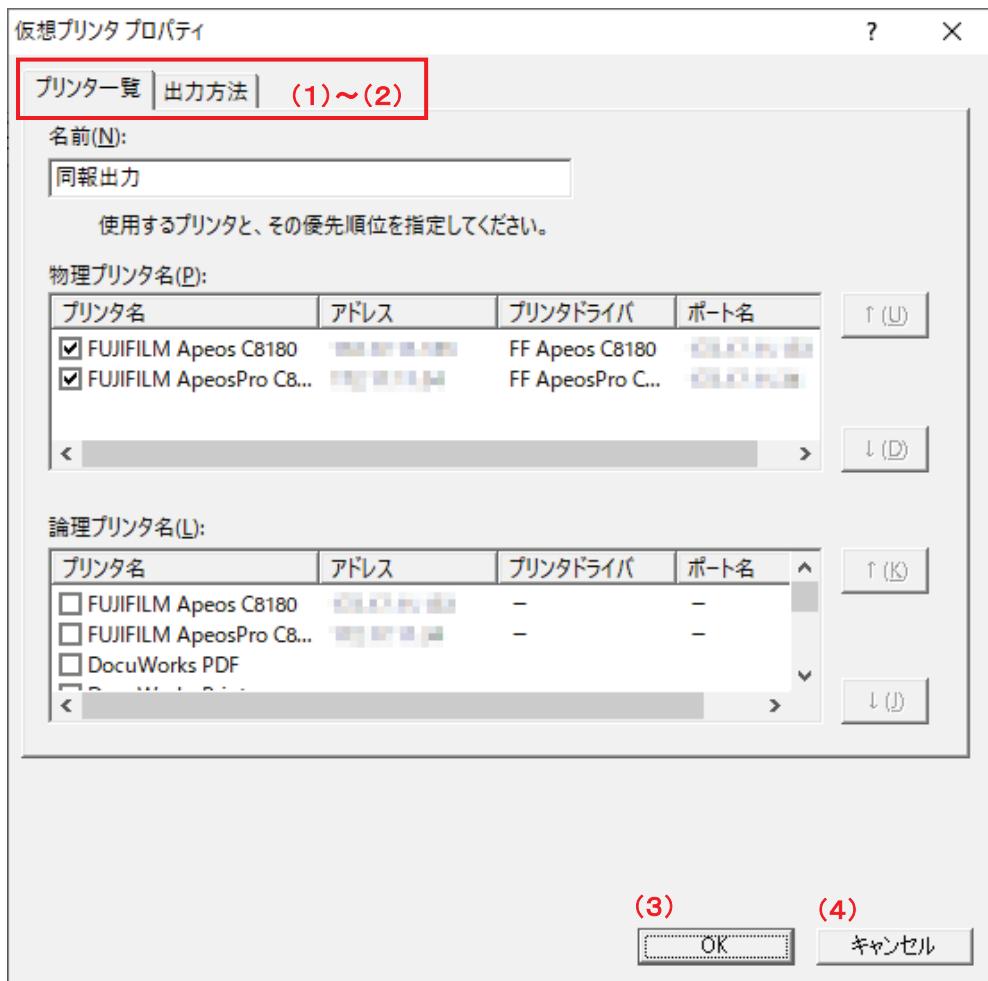
- ・一覧のチェックボックスをONにすることで、物理プリンタが使用するWindowsプリンタアイコンを

選択します。

8.4.5 [仮想プリンタプロパティ] ダイアログ

[仮想プリンタプロパティ] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.5 [仮想プリンタプロパティ] ダイアログ



(1) [プリンター覧]タブ

(2) [出力方法]タブ

(3) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

操作

- ・設定した項目に誤りがある場合、エラーメッセージを表示します。

(4) [キャンセル] ボタン

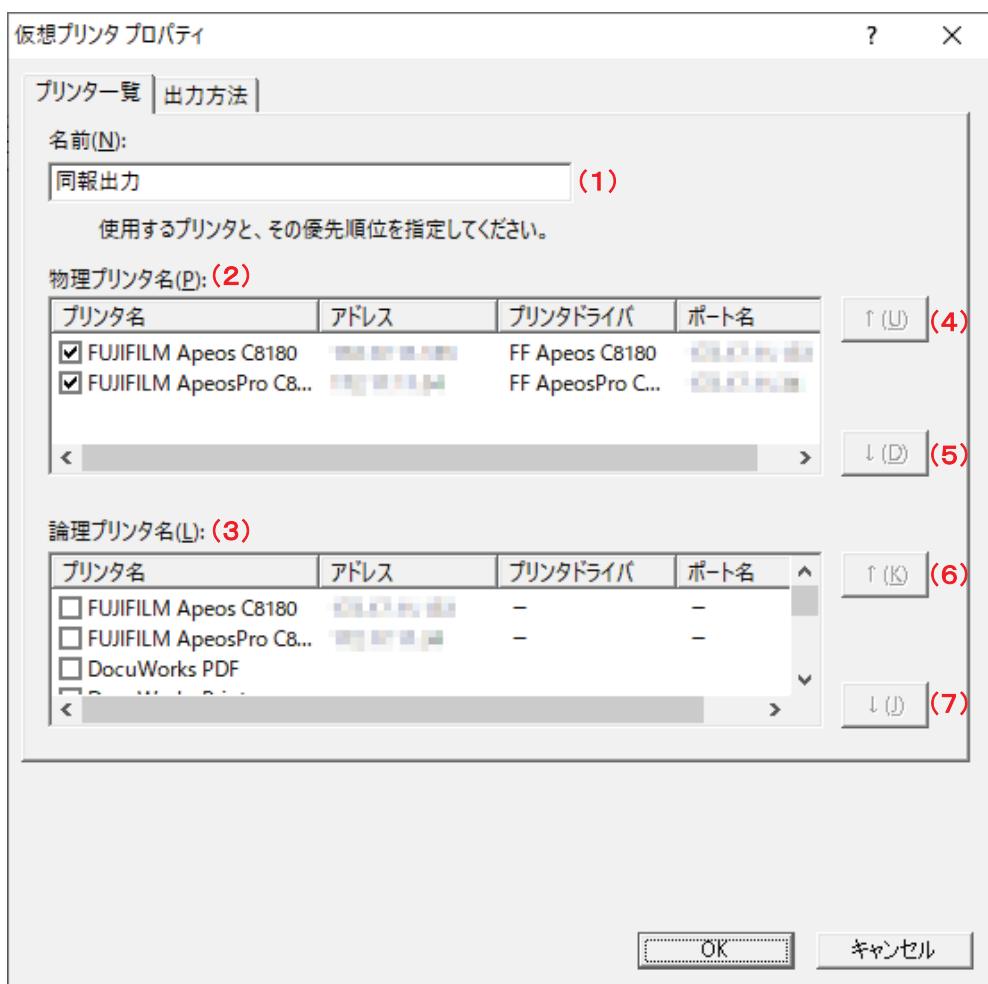
機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

8.4.5.1 [プリンター覧] タブ

[仮想プリンタプロパティ] ダイアログ [プリンター覧] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.5.1 [プリンター覧] タブ



(1) [名前] 入力ボックス

機能

- ・プリンタビューに表示する仮想プリンタ名を指定します。

操作

- ・入力ボックスに直接文字列を入力します。
- ・最大半角で64文字の半角、または全角文字が指定可能です。

(2) [物理プリンタ名] チェックリストボックス

機能

- ・仮想プリンタを構成するために選択可能な物理プリンタを一覧表示します。

操作

- ・一覧のチェックボックスをONにすることで、仮想プリンタが使用する物理プリンタを選択します。

(3) [論理プリンタ名] チェックリストボックス

機能

- ・仮想プリンタを構成するために選択可能な論理プリンタを一覧表示します。

操作

- ・一覧のチェックボックスをONにすることで、仮想プリンタが使用する論理プリンタを選択します。

(4)、(6) [↑] ボタン

(5)、(7) [↓] ボタン

機能

- ・一覧で選択(強調表示)されているプリンタの優先順位を変更します。

操作

- ・一覧でプリンタを選択(強調表示)し、[↑][↓]ボタンで優先順位を変更します。

8.4.5.2 【出力方法】タブ

【仮想プリンタプロパティ】ダイアログ【出力方法】タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 8.4.5.2 [出力方法]タブ



(1) [先頭のプリンタから出力]ラジオボタン

(2) [複数のプリンタに同じ内容を出力する]ラジオボタン

機能

- ・仮想プリンタからの出力の方法を選択します。
- ・[先頭のプリンタから出力]を選択した場合、一覧で選択されている先頭のプリンタから出力します。物理プリンタ、論理プリンタの両方が選択されている場合、物理プリンタで選択されている先頭のプリンタから出力します。
- ・[複数のプリンタに同じ内容を出力する]を選択した場合、選択されている全てのプリンタから同じ内容を出力します。物理プリンタが 1 台しか選択されていない場合、選択されている物理プリンタの中に状態取得の実績のないプリンタが含まれている場合はこの出力方法を選択することはできません。

操作

- ・初期値は、[先頭のプリンタから出力]になっています。

9. ファイル操作

DocPoemがサポートするファイル、およびファイル操作方法について説明します。

9.1 “ACEL DocPoem Image Driver”からの取り込み

DocPoemでは、アプリケーションから“ACEL DocPoem Image Driver”を指定して印刷を実行することで、実行した文書の印刷イメージを取り込みプレビュー表示することができます。

アプリケーションからの印刷実行時に、印刷するプリンタとして“ACEL DocPoem Image Driver”を選択してください。DocPoemが起動していない場合はDocPoemが起動し、印刷イメージをプレビュー表示します。

すでにDocPoemが起動しており、編集中のDocPoem文書が存在する場合は編集中のDocPoem文書の後ろに束ねられます。開いているDocPoem文書が、DocPoem Professionalで保存された文書であった場合は、開いているDocPoem文書は無条件に閉じて新規に取り込みます。

9.2 DocPoem文書の保存

DocPoem文書は、DocPoem上でレイアウトしたままの状態を保存するDocPoemのファイル形式です。DocPoemに取り込んだ文書は、任意の場所に任意の名前で保存できます。メニューバーから〔ファイル〕－〔名前を付けて保存〕メニューを選択するか、標準ツールバーの〔名前を付けて保存〕ボタンをクリックしてください。

9.3 DocPoem文書の取り込み

保存されたDocPoem文書は、再度取り込んで編集を行うことができます。ただし、DocPoem Professionalで保存されたDocPoem文書は一切の編集操作を行うことはできません。文書の閲覧と印刷のみが実行可能です。

9.3.1 取り込み方法

DocPoem文書を取り込む方法について説明します。

(1) ドラッグ&ドロップ

取り込みたいDocPoem文書を、エクスプローラなどからドラッグし、DocPoemのツリービュー画面かプレビュー画面上でドロップします。

(2) ファイルの取り込み

次の方法で「開く」ダイアログを表示し、取り込むDocPoem文書を選択します。

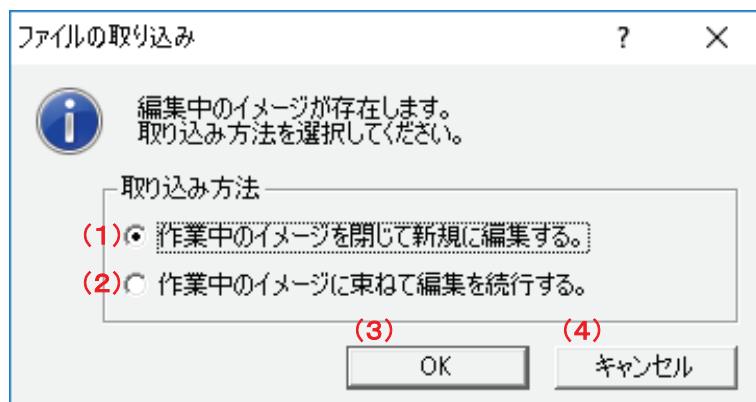
- ①メニューバーから [ファイル] – [ファイルの取り込み] メニューを選択します。
- ②標準2ツールバーの [ファイルの取り込み] ボタンをクリックします。
- ③Ctrl + O キーを押します。

ファイルを取り込む際、すでにDocPoem上に編集中のDocPoem文書があった場合、[ファイルの取り込み] ダイアログが表示されます。開いているDocPoem文書がDocPoem Professionalで保存された文書であった場合は、開いているDocPoem文書は無条件に閉じて新規に取り込みます。

9.3.1.1 [ファイルの取り込み] ダイアログ

[ファイルの取り込み] ダイアログの画面体裁、および操作について説明します。

図 9.3.1.1 [ファイルの取り込み] ダイアログ



(1) [作業中のイメージを閉じて新規に編集する。] ラジオボタン

(2) [作業中のイメージに束ねて編集を続行する。] ラジオボタン

機能

- ・編集中の文書が存在する場合に、新たな文書を取り込む時の取り込み方を指定します。
- ・[作業中の文書を閉じて新規に編集する。]を選択した場合、現在開いている文書を閉じてから新たな文書を取り込みます。
- ・[作業中の文書に束ねて編集を続行する。]を選択した場合、現在開いている文書の末尾に新たな文書を束ねます。

操作

- ・初期値は、[作業中の文書を閉じて新規に編集する]になっています。

(3) [OK] ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

(4) [キャンセル] ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

10. メニュー

DocPoem のメニュー命令について説明します。

10.1 メニューバー

DocPoem のメニューバー構成および、操作について説明します。

10.1.1 [ファイル] メニュー

文書ファイルの取り込みや DocPoem 文書の保存など、ファイル操作に関するメニュー命令です。

10.1.1.1 [ファイル] – [ファイルの取り込み]

機能

- ・選択されたファイルを DocPoem に取り込みます。

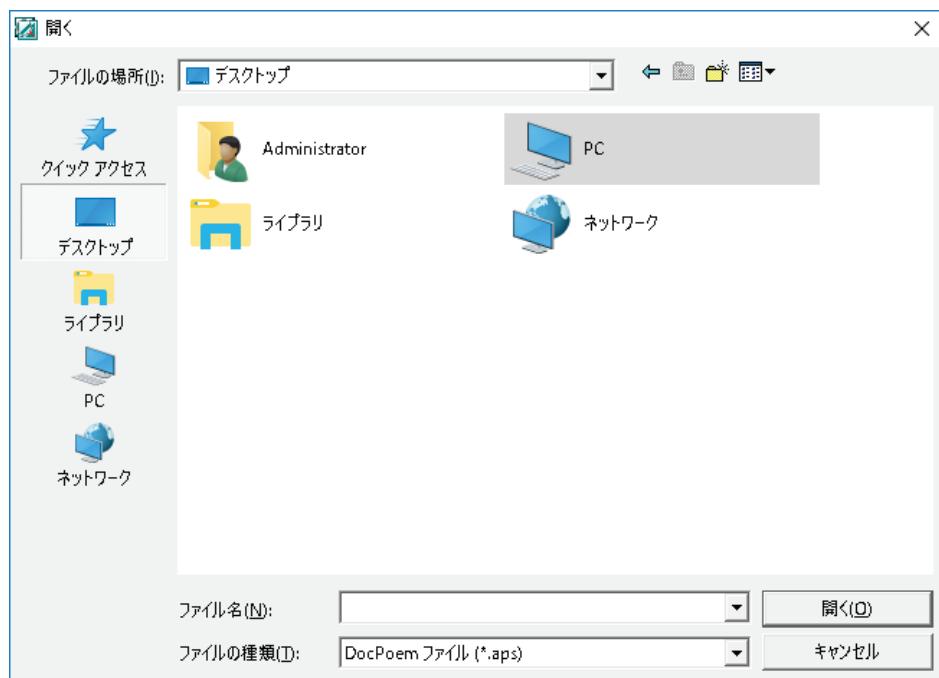
操作

- ・「開く」ダイアログを表示します。

その他の操作

- ・標準 2 ツールバーから[開く]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + O キーを押します。

図 10.1.1.1 [開く] ダイアログ



10.1.1.2 [ファイル] – [閉じる]

機能

- 現在開いている DocPoem 文書を閉じます。

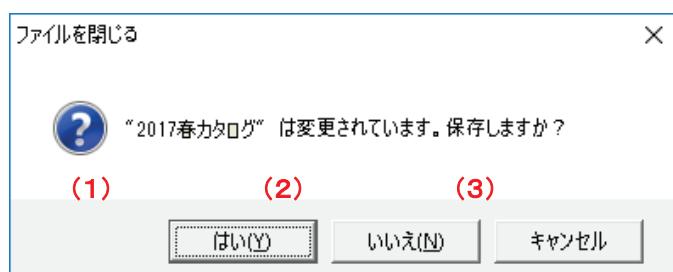
操作

- ファイルの保存を行わなければ変更内容が失われてしまう場合は、「ファイルを閉じる」メッセージを表示してファイルの編集保存を問い合わせます。

その他の操作

- 標準 2 ツールバーから[閉じる]ボタンをクリックします。
- Ctrl + F4 キーを押します。

図 10.1.1.2 [ファイルを閉じる] メッセージ



(1) [はい] ボタン

機能

- ・[名前を付けて保存]ダイアログを表示します。

(2) [いいえ] ボタン

機能

- ・保存せずに文書を閉じます。

(3) [キャンセル] ボタン

機能

- ・文書を閉じずに処理を中断します。

10.1.1.3 [ファイル] — [名前を付けて保存]

機能

- ・現在開いている DocPoem 文書を任意の場所に任意の名前で保存します。

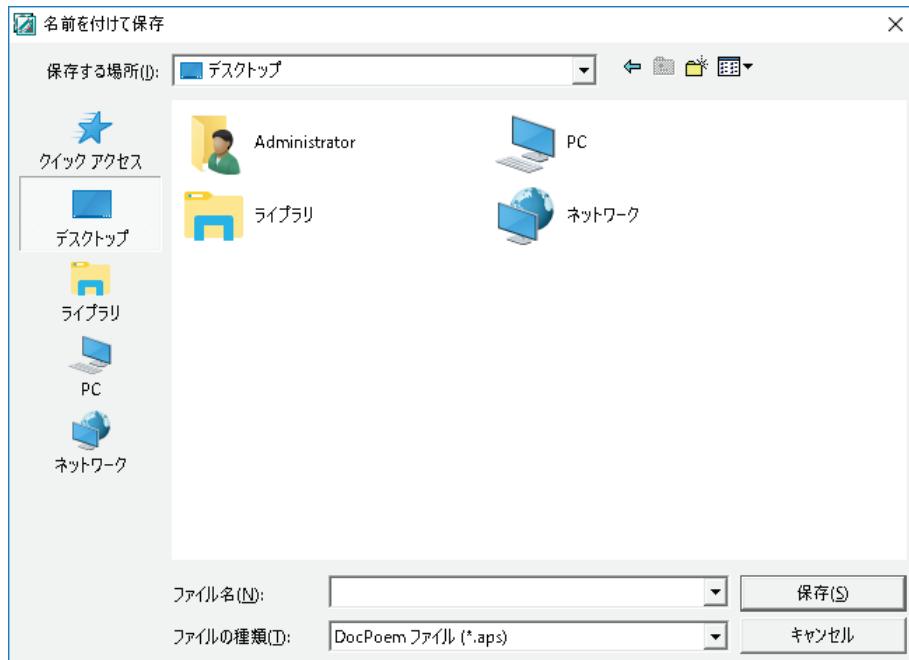
操作

- ・「名前を付けて保存」ダイアログを表示します。

その他の操作

- ・標準 2 ツールバーから[名前を付けて保存]ボタンをクリックします。
- ・Ctrl + S キーを押します。

図 10.1.1.3 [名前を付けて保存]ダイアログ



10.1.1.4 [ファイル] – [プロパティ]

機能

- ・現在開いている DocPoem 文書の用紙情報を表示します。

操作

- ・「プロパティ」ダイアログを表示します。

図 10.1.1.4 [プロパティ] ダイアログ



その他の操作

- 用紙編集ツールバーから[用紙情報]ボタンをクリックします。

10.1.1.5 [ファイル] — [終了]

機能

- DocPoem を終了します。

操作

- 編集中の DocPoem 文書がある場合、ファイルの保存を行っていなければ変更内容は失われます。
- タスクトレイに常駐するよう設定されている場合は、タスクトレイに収められます。

その他の操作

- 標準 2 ツールバーから[終了]ボタンをクリックします。
- Alt + F4 キーを押します。

10.1.2 [編集] メニュー

文書構成の編集操作に関するメニュー命令です。

10.1.2.1 [編集] – [元に戻す]

「5.2.2.1 元に戻す」を参照してください。

10.1.2.2 [編集] – [やり直し]

「5.2.2.2 やり直し」を参照してください。

10.1.2.3 [編集] – [最初からやり直し]

機能

- ・DocPoem に取り込んだ時の状態または、最後に DocPoem 文書に保存した時の状態まで操作を戻します。

10.1.2.4 [編集] – [削除]

「5.2.3.1 削除」を参照してください。

10.1.3 [表示] メニュー

プレビュー画面、ツリービュー画面の表示方法や、選択単位の変更など、表示操作のメニュー命令です。

10.1.3.1 [表示] – [原稿イメージ表示]

機能

- ・プレビュー画面を「印刷原稿」ビュー表示に切り替えます。

操作

- ・プレビュー画面が「印刷原稿」ビュー表示になっている場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.2 [表示] – [仕上がりイメージ表示] – [片面表示]

機能

- ・プレビュー画面を「仕上がりイメージ」ビューの片面表示に切り替えます。

操作

- ・プレビュー画面が「仕上がりイメージ」ビューの片面表示になっている場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.3 [表示] – [仕上がりイメージ表示] – [見開き表示]

機能

- ・プレビュー画面を「仕上がりイメージ」ビューの見開き表示に切り替えます。

操作

- ・プレビュー画面が「仕上がりイメージ」ビューの見開き表示になっている場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.4 [表示] – [先頭のページ]

「5.2.1.1 先頭ページへ移動」を参照してください。

10.1.3.5 [表示] – [前のページ]

「5.2.1.2 前のページへ移動」を参照してください。

10.1.3.6 [表示] – [次のページ]

「5.2.1.3 次のページへ移動」を参照してください。

10.1.3.7 [表示] – [最終のページ]

「5.2.1.4 最終のページへ移動」を参照してください。

10.1.3.8 [表示] – [ページ指定]

「5.2.1.5 指定ページへ移動」を参照してください。

10.1.3.9 [表示] – [ズームイン]

機能

- ・プレビュー画面の表示倍率を拡大します。

操作

- ・選択のたびに 15%ずつ拡大表示し、最大 200%まで表示します。

10.1.3.10 [表示] – [ズームアウト]

機能

- ・プレビュー画面の表示倍率を縮小します。

操作

- ・選択のたびに 15%ずつ縮小表示し、最小 10%まで表示します。

10.1.3.11 [表示] – [100%表示]

機能

- ・プレビュー画面の表示倍率を 100%にします。

操作

- ・[100%表示]が選択されている場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.12 [表示] – [ウィンドウに収める]

機能

- ・表示内容がウィンドウ内に収まるよう表示倍率を自動調整します。

操作

- ・[ウィンドウに収める]が選択されている場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.13 [表示] – [ウィンドウの幅に合わせる]

機能

- ・表示内容がウィンドウの幅に収まるよう表示倍率を自動調整します。

操作

- ・[ウィンドウの幅に合わせる]が選択されている場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.14 [表示] – [ズーム]

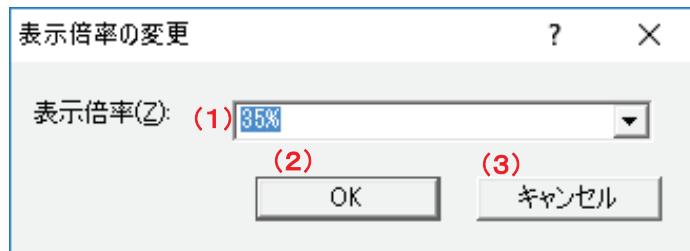
機能

- ・表示倍率を任意の倍率に変更します。

操作

- ・「表示倍率の変更」ダイアログを表示します。

図 10.1.3.14 [表示倍率の変更]ダイアログ



(1) [表示倍率]入力コンボボックス

機能

- ・プレビュー画面の表示倍率を変更します。

操作

- ・1%単位で指定できます。
- ・入力ボックスに 10~200 の半角数字で指定します。
- ・または、一覧から倍率を選択します。

(2) [OK]ボタン

機能

- ・設定内容を保存し画面を閉じます。

(3) [キャンセル]ボタン

機能

- ・処理を中断し画面を閉じます。

10.1.3.15 [表示] – [全画面表示]

機能

- ・メニューバー、ツールバー、ステータスバーを隠し全画面表示します。

操作

- ・全画面表示中は全画面表示解除のためのボタンが表示されます。

10.1.3.16 [表示] – [タスクトレイに入れる]

機能

- ・DocPoem を Windows のタスクトレイに収めます。

その他の操作

- ・標準 2 ツールバーから[タスクトレイに入れる]ボタンをクリックします。

10.1.3.17 [表示] – [メニューバー]

機能

- ・メニューバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・メニューバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

その他の操作

- ・標準 2 ツールバーから[メニューバーの表示切り替え]ボタンをクリックします。

10.1.3.18 [表示] – [ツールバー] – [標準]

機能

- ・標準ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・標準ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.19 [表示] – [ツールバー] – [標準 2]

機能

- ・標準 2 ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・標準 2 ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.20 [表示] – [ツールバー] – [表示操作]

機能

- ・表示操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・表示操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.21 [表示] – [ツール バー] – [ページ操作]

機能

- ・ページ操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・ページ操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.22 [表示] – [ツール バー] – [両面編集]

機能

- ・両面編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・両面編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.23 [表示] – [ツール バー] – [まとめて 1 枚編集]

機能

- ・まとめて 1 枚編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・まとめて 1 枚編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.24 [表示] – [ツール バー] – [部数編集]

機能

- ・部数編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・部数編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.25 [表示] – [ツール バー] – [用紙編集]

機能

- ・用紙編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・用紙編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.26 [表示] – [ツール バー] – [レイアウト編集]

機能

- ・レイアウト編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・レイアウト編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.27 [表示] – [ツール バー] – [余白編集]

機能

- ・余白編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・余白編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.28 [表示] – [ツール バー] – [仕上げ編集]

機能

- ・仕上げ編集操作ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・仕上げ編集操作ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.29 [表示] – [ツール バー] – [設定情報]

機能

- ・設定情報ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・設定情報ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.30 [表示] – [ツール バー] – [プリント]

機能

- ・プリントビューの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・プリントビューを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.31 [表示] – [ツール バー] – [お気に入り]

機能

- ・お気に入りツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・お気に入りツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.32 [表示] – [ツール バー] – [お気に入り一覧]

機能

- ・お気に入り一覧ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・お気に入り一覧ツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.33 [表示] – [ツール バー] – [カーソル]

機能

- ・カーソルツールバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・カーソルツールバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.3.34 [表示] – [ステータス バー]

機能

- ・ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

操作

- ・ステータスバーを表示している場合はチェックマークが付きます。

10.1.4 [イメージ] メニュー

現在 DocPoem に取り込まれている文書の印刷属性を操作するメニュー命令です。

10.1.4.1 [イメージ] – [両面]

「5.2.4.1 両面／片面」、

「5.2.4.2 長辺とじ／短辺とじ」を参照してください。

10.1.4.2 [イメージ] – [まとめて1枚]

「5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト」、
「5.2.4.4 まとめて1枚の割り付け順」を参照してください。

10.1.4.3 [イメージ] – [枠線をつける]

「5.2.4.5 枠線をつける」を参照してください。

10.1.4.4 [イメージ] – [用紙サイズ]

「5.2.4.6 用紙サイズ」を参照してください。

10.1.4.5 [イメージ] – [給紙トレイ]

「5.2.4.7 給紙トレイ」を参照してください。

10.1.4.6 [イメージ] – [ヘッダー/フッター]

「5.2.4.11 ヘッダー/フッター」を参照してください。

10.1.4.7 [イメージ] – [余白/とじしろ]

「5.2.4.12 余白/とじしろ」を参照してください。

10.1.4.8 [イメージ] – [ホチキス]

「5.2.4.14 ホチキス」を参照してください。

10.1.4.9 [イメージ] – [パンチ]

「5.2.4.15 パンチ」、
「5.2.4.16 パンチ穴数」を参照してください。

10.1.4.10 [イメージ] – [紙折り]

「5.2.4.17 紙折り」を参照してください。

10.1.4.11 [イメージ] – [小冊子印刷]

「5.2.4.18 小冊子印刷」を参照してください。

10.1.4.12 [イメージ] – [ダブルコピー]

「5.2.4.19 ダブルコピー」を参照してください。

10.1.4.13 [イメージ] – [罫線補正]

機能

- ・罫線の描画補正の有効／無効を切り替えます。

操作

- ・罫線補正を有効にしている場合はチェックマークが付きます。

10.1.4.14 [イメージ] – [お気に入り一覧]

「7. お気に入り」を参照してください。

10.1.5 [プリンタ] メニュー

プリンタビューにおける操作を行うメニュー命令です。

10.1.5.1 [プリンタ] – [大きいアイコンで表示]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(1) [大きいアイコンで表示]」を参照してください。

10.1.5.2 [プリンタ] – [一覧で表示]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(2) [一覧で表示]」を参照してください。

10.1.5.3 [プリンタ] – [最新の情報に更新]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(4) [最新の情報に更新]」を参照してください。

10.1.5.4 [プリンタ] – [追加]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(5) [追加]」を参照してください。

10.1.5.5 [プリンタ] – [削除]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(6) [削除]」を参照してください。

10.1.5.6 [プリンタ] – [名前の変更]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(7) [名前の変更]」を参照してください。

10.1.5.7 [プリンタ] – [セキュリティプリントする]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(8) [セキュリティプリントする]」を参照してください。

10.1.5.8 [プリンタ] – [セキュリティプリント設定]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(9) [セキュリティプリント設定]」を参照してください。

10.1.5.9 [プリンタ] – [認証情報設定]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(10) [認証情報設定]」を参照してください。

10.1.5.10 [プリンタ] – [プロパティ]

「8.4 プリンタビューメニュー」の「(11) [プロパティ]」を参照してください。

10.1.6 [ツール] メニュー

DocPoem をより快適にご使用いただくためのツールを提供するメニュー命令です。

10.1.6.1 [ツール] – [お気に入りの編集]

機能

- ・お気に入りの登録内容を編集します。

操作

- ・「お気に入りの編集」ダイアログを表示します。

その他の操作

- ・お気に入りツールバーから[お気に入りの編集]ボタンをクリックします。

10.1.6.2 [ツール] – [お気に入りの登録]

機能

- ・現在の印刷属性レイアウトをお気に入りに登録します。

操作

- ・「お気に入りの登録」ダイアログを表示します。

その他の操作

- ・お気に入りツールバーから[お気に入りの登録]ボタンをクリックします。

10.1.6.3 [ツール] – [オプション]

機能

- ・DocPoem の動作環境を設定します。

操作

- ・「オプション」ダイアログを表示します。

その他の操作

- ・標準 2 ツールバーから[オプション]ボタンをクリックします。

10.1.6.4 [ツール] – [通常選択]

機能

- ・現在の選択モードを通常選択に変更します。

その他の操作

- ・カーソルツールバーから[通常選択]ボタンをクリックします。

10.1.6.5 [ツール] – [範囲選択]

機能

- ・現在の選択モードを範囲選択に変更します。

その他の操作

- ・カーソルツールバーから[範囲選択]ボタンをクリックします。

10.1.7 [ヘルプ] メニュー

ヘルプおよびバージョン情報の表示を行うメニュー命令です。

10.1.7.1 [ヘルプ] – [ヘルプ]

機能

- ・DocPoem のヘルプを表示します。

その他の操作

- ・標準 2 ツールバーから[ヘルプ]ボタンをクリックします。
- ・F1 キーを押します。

10.1.7.2 [ヘルプ] – [バージョン情報]

機能

- ・DocPoem のバージョン情報ダイアログを表示します。

10.2 タスクトレイのメニュー

DocPoem がタスクトレイに収められている場合のメニュー構成および、操作について説明します。メニューを開くには、タスクトレイにある DocPoem のアイコンをマウス右ボタンでクリックします。

(1) [開く]

機能

- ・DocPoem をタスクトレイから出します。

その他の操作

- ・タスクトレイにある DocPoem のアイコンをマウス左ボタンでクリックします。

(2) [オプション]

機能

- ・「オプション」ダイアログを表示します。

(3) [ヘルプ]

機能

- ・DocPoem のヘルプを表示します。

(4) [バージョン情報]

機能

- ・DocPoem のバージョン情報ダイアログを表示します。

(5) [終了]

機能

- ・DocPoem を終了します。

11. ツールバー／ステータスバー

DocPoem のツールバー／ステータスバーについて説明します。

11.1 ツールバー

DocPoem のツールバー構成および、操作について説明します。

11.1.1 標準ツールバー

文書構成の編集操作を行います。

(1) [元に戻す] 

「5.2.2.1 元に戻す」を参照してください。

(2) [やり直す] 

「5.2.2.2 やり直し」を参照してください。

(3) [削除] 

「5.2.3.1 削除」を参照してください。

11.1.2 標準 2 ツールバー

ファイル操作や、動作環境の設定を行います。

(1) [プログラムの終了] 

「10.1.1.5 [ファイル]—[終了]」を参照してください。

(2) [ファイルの取り込み] 

「10.1.1.1 [ファイル]—[ファイルの取り込み]」を参照してください。

(3) [名前を付けて保存] 

「10.1.1.3 [ファイル]—[名前を付けて保存]」を参照してください。

(4) [閉じる] 

「10.1.1.2 [ファイル]—[閉じる]」を参照してください。

(5) [メニューバーの表示切り替え] 

「10.1.3.17 [表示]—[メニューバー]」を参照してください。

(6) [全画面表示] 

「10.1.3.15 [表示]—[全画面表示]」を参照してください。

(7) [タスクトレイに入れる] 

「10.1.3.16 [表示]—[タスクトレイに入れる]」を参照してください。

(8) [オプション] 

「10.1.6.3 [ツール]—[オプション]」を参照してください。

(9) [ヘルプ] 

「10.1.7.1 [ヘルプ]—[ヘルプ]」を参照してください。

11.1.3 表示操作ツールバー

プレビュー画面の表示操作を行います。

(1) [ズームアウト] 

「10.1.3.10 [表示]—[ズームアウト]」を参照してください。

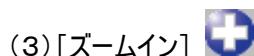
(2) [表示倍率] 入力コンボボックス

機能

・プレビュー画面の表示倍率を設定します。

操作

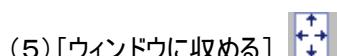
・10～200%の範囲内で入力するか、コンボボックスの選択肢から表示倍率を選択します。



「10.1.3.9 [表示] – [ズームイン]」を参照してください。



「10.1.3.11 [表示] – [100%表示]」を参照してください。



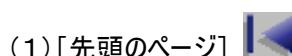
「10.1.3.12 [表示] – [ウィンドウに収める]」を参照してください。



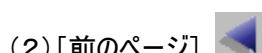
「10.1.3.13 [表示] – [ウィンドウの幅に合わせる]」を参照してください。

11.1.4 ページ操作ツールバー

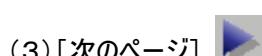
現在のページの移動や選択単位の変更を行います。



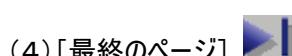
「5.2.1.1 先頭ページへ移動」を参照してください。



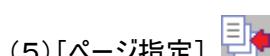
「5.2.1.2 前のページへ移動」を参照してください。



「5.2.1.3 次のページへ移動」を参照してください。



「5.2.1.4 最終のページへ移動」を参照してください。



「5.2.1.5 指定ページへ移動」を参照してください。

11.1.5 兩面編集操作ツールバー

兩面レイアウトの編集操作を行います。

(1) [両面/片面]  

「5.2.4.1 両面/片面」を参照してください。

(2) [長辺とじ/短辺とじ]  

「5.2.4.2 長辺とじ/短辺とじ」を参照してください。

11.1.6 まとめて1枚編集操作ツールバー

まとめて1枚レイアウトの編集操作を行います。

(1) [まとめて一枚] (1ページ) 

「5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト」を参照してください。

(2) [まとめて一枚] (2ページ) 

「5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト」を参照してください。

(3) [まとめて一枚] (4ページ) 

「5.2.4.3 まとめて1枚のレイアウト」を参照してください。

(4) [枠線] 

「5.2.4.5 枠線をつける」を参照してください。

11.1.7 部数編集操作ツールバー

部数やカラー mode の編集操作を行います。

(1) [部数] 入力ボックス

「5.2.4.8 部数」を参照してください。

(2) [ソート]  

「5.2.4.9 ソート」を参照してください。

(3) [カラー mode]  

「5.2.4.10 カラーモード」を参照してください。

11.1.8 用紙編集操作ツールバー

用紙、給紙関連の編集操作を行います。

(1) [用紙サイズ]

「5.2.4.6 用紙サイズ」を参照してください。

(2) [給紙トレイ]

「5.2.4.7 紙給トレイ」を参照してください。

(3) [用紙情報] 

「10.1.1.4 [ファイル] - [プロパティ]」を参照してください。

11.1.9 レイアウト編集操作ツールバー

文書レイアウトの編集操作を行います。

(1) [罫線補正] 

「10.1.4.13 罫線補正」を参照してください。

(2) [小冊子印刷] 

「5.2.4.18 小冊子印刷」を参照してください。

(3) [ダブルコピー] 

「5.2.4.19 ダブルコピー」を参照してください。

11.1.10 余白編集操作ツールバー

余白やヘッダーフッターの編集操作を行います。

(1) [ヘッダー/フッター] 

「5.2.4.11 ヘッダー/フッター」を参照してください。

(2) [余白/とじしろ]

「5.2.4.12 余白/とじしろ」を参照してください。

(3) [オフセット排出]

「5.2.4.13 オフセット排出」を参照してください。

11.1.11 仕上げ編集操作ツールバー

文書の仕上がり状態の編集操作を行います。

(1) [ホチキス]

「5.2.4.14 ホチキス」を参照してください。

「5.2.4.24 [仕上げ]ダイアログ」を参照してください。

(2) [パンチ]

「5.2.4.15 パンチ」、

「5.2.4.16 パンチ穴数」を参照してください。

「5.2.4.24 [仕上げ]ダイアログ」を参照してください。

(3) [紙折り]

「5.2.4.17 紙折り」を参照してください。

「5.2.4.24 [仕上げ]ダイアログ」を参照してください。

11.1.12 設定情報ツールバー

セキュリティプリントや認証情報の設定操作を行います。

(1) [セキュリティプリント設定]

「8.4 プリントビューメニュー」の「(11) [セキュリティプリント設定]」を参照してください。

(2) [認証情報設定]

「8.4 プリントビューメニュー」の「(12) [認証情報設定]」を参照してください。

11.1.13 お気に入りツールバー

お気に入りの操作を行います。

(1) [お気に入りの編集] 

「10.1.6.1 [ツール] - [お気に入りの編集]」を参照してください。

(2) [お気に入りの登録] 

「10.1.6.2 [ツール] - [お気に入りの登録]」を参照してください。

11.1.14 カーソルツールバー

カーソル選択モードの切り替えを行います。

(1) [通常選択] 

「10.1.6.4 [ツール] - [通常選択]」を参照してください。

(2) [範囲選択] 

「10.1.6.5 [ツール] - [範囲選択]」を参照してください。

11.2 ステータスバー

DocPoem のステータスバー構成および、読み方について説明します。

図 11.2 ステータスバー

(1) F1キーを押すとヘルプを表示します。	(2) 1/3ページ	(3) 1/3面	(4) 1/3枚
---------------------------	---------------	-------------	-------------

(1) 操作のヒント

機能

・行おうとする操作のヒントを表示します。

(2) 原稿情報

機能

- ・総原稿数と、現在の原稿の位置を表示します。

(3)面情報

機能

- ・総面数と、現在の面の位置を表示します。

(4)用紙情報

機能

- ・総用紙枚数と、現在の用紙の位置を表示します。

12. ACEL DocPoem Image Driver

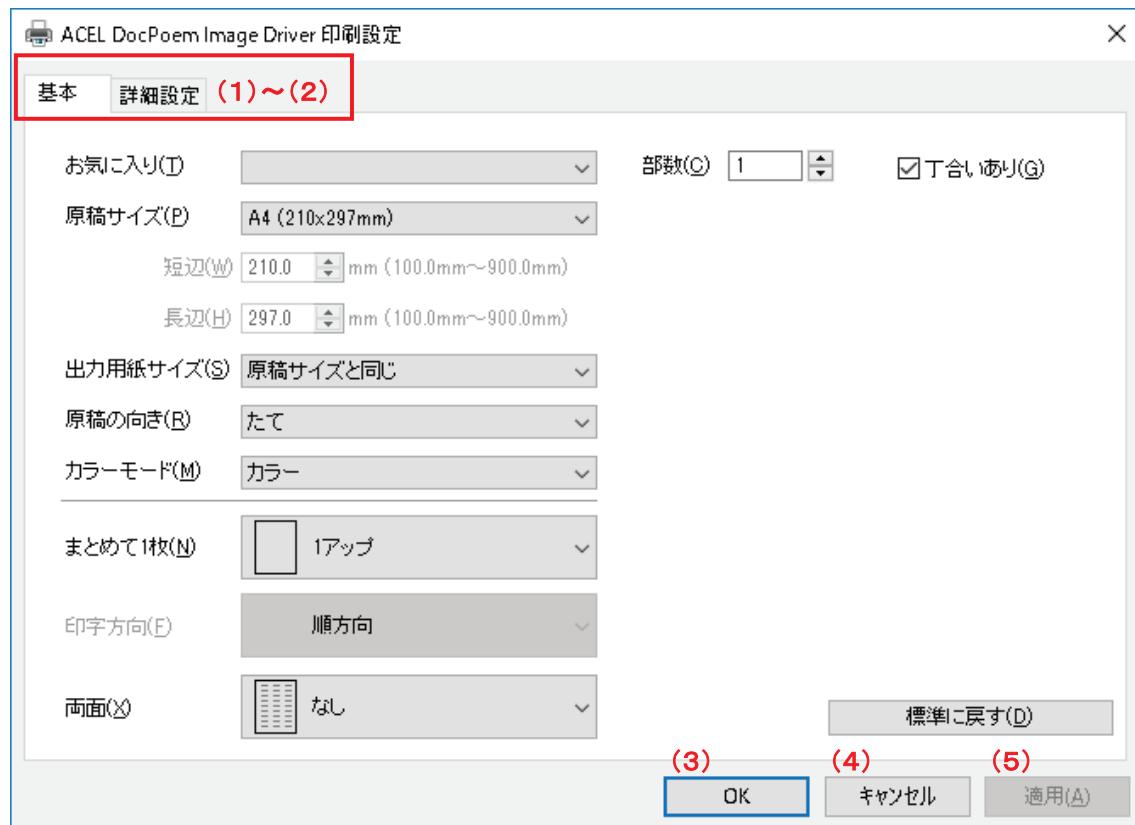
“ACEL DocPoem Image Driver” は、文書ファイルの印刷イメージを DocPoem に取り込むためのプリンタドライバです。

文書ファイルを開いたアプリケーションから、“ACEL DocPoem Image Driver” に印刷することで、印刷イメージを DocPoem に取り込みます。

12.1 画面の説明

“ACEL DocPoem Image Driver” 印刷設定画面の画面体裁、および操作について説明します。

図 12.1 [ACEL DocPoem Image Driver 印刷設定]ダイアログ



(1) [基本]タブ

(2) [詳細設定]タブ

(3) [OK]ボタン

機能

- ・このダイアログボックスを閉じ、編集内容を保存します。

(4) [キャンセル]ボタン

機能

- ・変更内容を保存せずに、このダイアログボックスを閉じます。

(5) [適用]ボタン

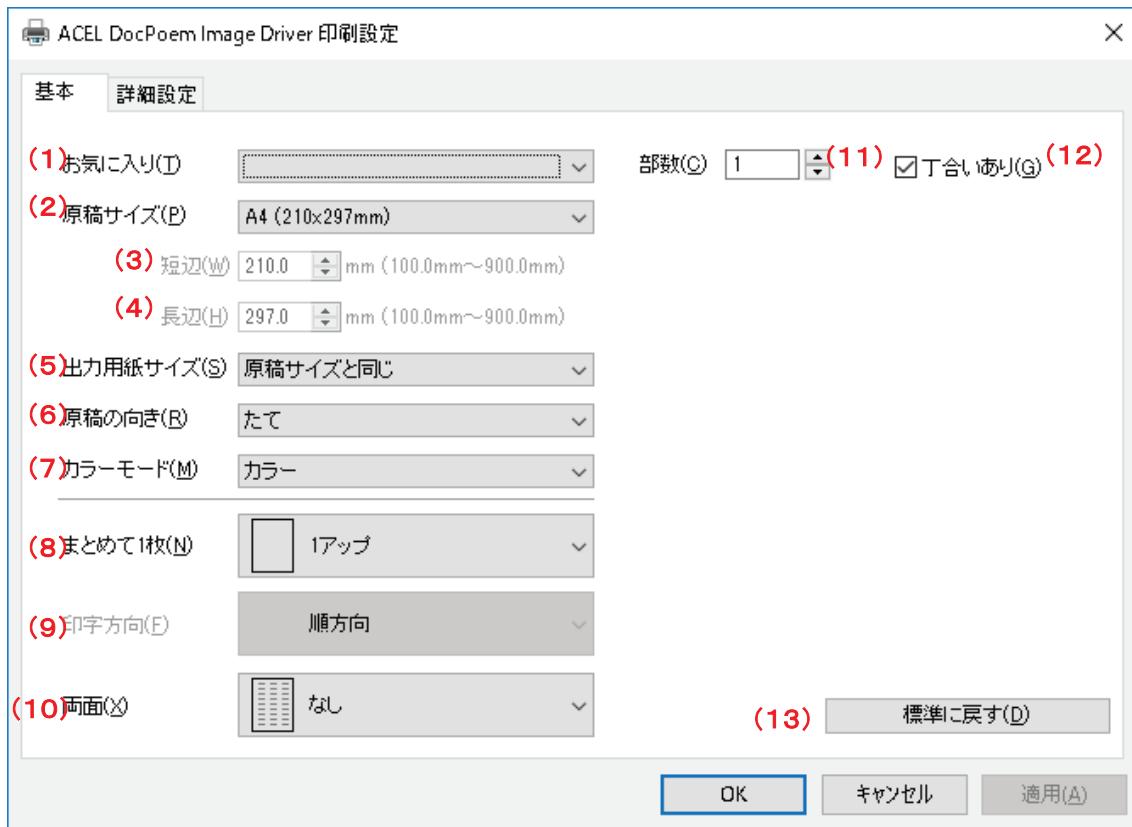
機能

- ・このダイアログボックスを開いたまま、変更内容を保存します。

12.1.1 [基本] タブ

“ACEL DocPoem Image Driver” の [基本] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 12.1.1 [基本]タブ



(1) [お気に入り]コンボボックス

機能

- ・[お気に入り]として登録している属性を、DocPoem への取り込み時に適用します。

操作

- ・一覧から設定したい「お気に入り」を選択します。

(2) [原稿サイズ]コンボボックス

機能

- ・原稿サイズを選択します。

操作

- ・以下の原稿サイズが選択できます。

A3 (297x420mm)

B4 (257x364mm)

A4 (210x297mm)

B5 (182x257mm)

A5 (148x210mm)

B6 (128x182mm)

A6 (105x148mm)

8.5x11" (レター)

8.5x14" (リーガル)

8.5x13"

11x17"

ユーザー定義用紙サイズ

- ・初期値は[A4 (210x297mm)]になっています。
- ・[ユーザー定義用紙サイズ]を指定した場合、原稿サイズの短辺と長辺の長さを指定できます。

(3) [短辺]入力ボックス

機能

- ・原稿の短辺の長さを指定します。

操作

- ・100.0～900.0 の半角数字で指定します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・原稿サイズに[ユーザー定義用紙サイズ]を指定した場合かつ、印刷方法に[DocPoem に取り込む]を指定した場合のみ本項目は指定できます。
- ・短辺には、長辺以下の値を指定します。

(4) [長辺]入力ボックス

機能

- ・原稿の長辺の長さを指定します。

操作

- ・100.0～900.0 の半角数字で指定します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・原稿サイズに[ユーザー定義用紙サイズ]を指定した場合かつ、印刷方法に[DocPoem に取り込む]を指定した場合のみ本項目は指定できます。
- ・長辺には、短辺以上の値を指定します。

(5) [出力用紙サイズ]コンボボックス

機能

- ・印刷で使用する用紙サイズを選択します。

操作

- ・以下の出力用紙サイズが選択できます。

原稿サイズと同じ

A3 (297x420mm)

B4 (257x364mm)

A4 (210x297mm)

B5 (182x257mm)

A5 (148x210mm)

8.5x11" (レター)

8.5x14" (リーガル)

8.5x13"

11x17"

- ・初期値は[原稿サイズと同じ]になっています。

- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(6) [原稿の向き]コンボボックス

機能

- ・印刷する原稿の向きを選択します。

操作

- ・以下の指定が選択できます。

たて

よこ

- ・初期値は[たて]になっています。

(7) [カラー モード]コンボボックス

機能

- ・カラー モードを選択します。

- ・[カラー]を選択した場合、カラー原稿はカラーイメージで印刷を指示します。

- ・[モノクロ]を選択した場合、カラー原稿を白黒に変換し印刷を指示します。

操作

- ・以下のカラー モードが選択できます。

カラー

白黒

- ・初期値は[カラー]になっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(8) [まとめて 1 枚]コンボボックス

機能

- ・連続する原稿を 1 つの用紙にまとめて印刷するかどうか、およびまとめて印刷する枚数を選択します。
- ・[1 ページ]以外を選択した場合、[印字方向]コンボボックスから用紙の割り付け順序を指定できます。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
 - 1アップ
 - 2アップ
 - 4アップ
 - 8アップ
 - 16アップ
 - 32アップ
- ・初期値は[1 アップ]になっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(9) [印字方向]コンボボックス

機能

- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスで[1 アップ]以外を選択した場合、用紙の割り付け順序を選択します。

操作

- ・以下の印字方向が選択できます。
 - 順方向
 - 逆方向
 - 順横方向
 - 順縦方向
 - 逆横方向
 - 逆縦方向
- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスで[2 アップ]を選択した場合、初期値は[順方向]になっています。
- ・[まとめて 1 枚]コンボボックスで[4/8/16/32 アップ]を選択した場合、初期値は[順横方向]になっています。

- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(10) [両面]コンボボックス

機能

- ・両面印刷を行うかどうかを指定します。
- ・両面印刷には[長辺とじ]、[短辺とじ]があります。とじる辺にあわせてどちらかを選択します。
- ・[長辺とじ]は用紙の長辺、[短辺とじ]は用紙の短辺を軸に、表と裏のイメージの上方向が一致するように印刷されます。

操作

- ・以下の指定が選択できます。
 - なし
 - 長辺とじ
 - 短辺とじ
- ・初期値は[なし]になっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(11) [部数]入力ボックス

機能

- ・印刷部数を指定します。

操作

- ・1～999 の半角数字で指定します。
- ・設定した項目に誤りがある場合、直前に入力した値に戻します。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は“1”部になっています。

(12) [丁合い有り]チェックボックス

機能

- ・複数ページからなる文書を部単位でソートして印刷するかどうかを指定します。

操作

- ・部単位でソートして印刷する場合にチェックします。
- ・初期値は“丁合いあり”(ON)になっています。

(13) [標準に戻す]ボタン

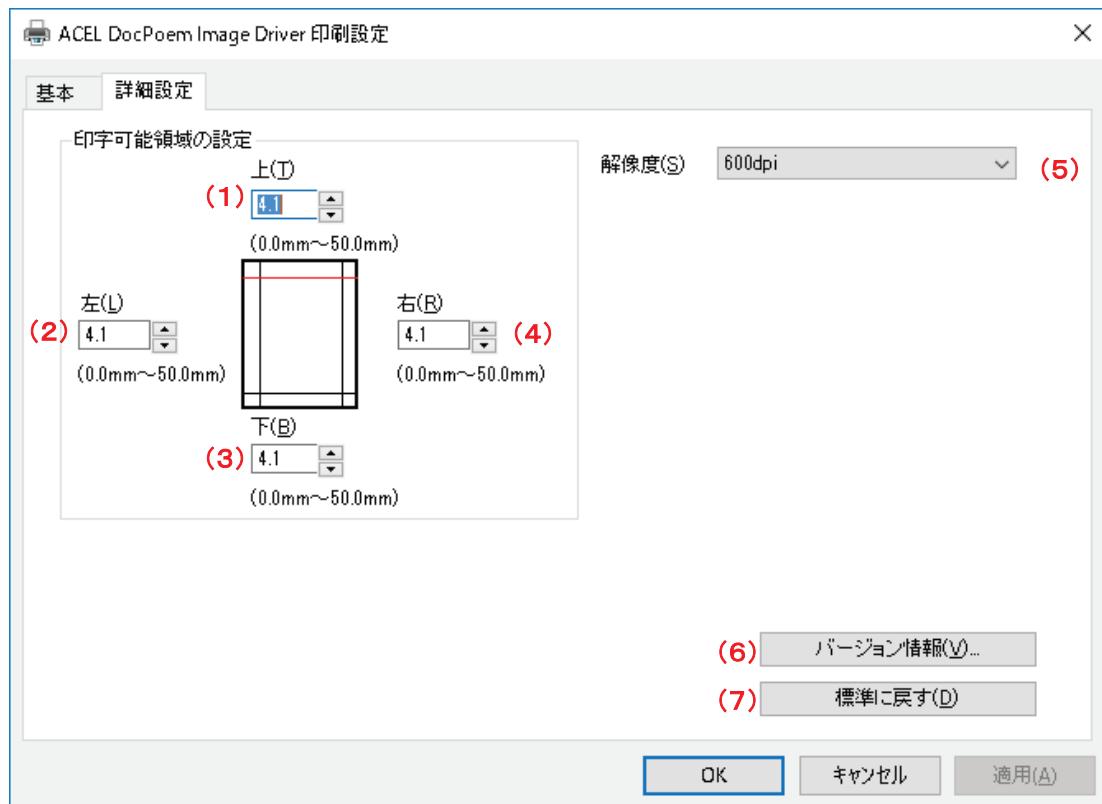
機能

- ・各項目の設定内容を初期状態に戻します。

12.1.2 [詳細設定] タブ

“ACEL DocPoem Image Driver” の [詳細設定] タブの画面体裁、および操作について説明します。

図 12.1.2 [詳細設定] タブ



(1) [上余白] 入力ボックス

機能

- 原稿の上余白を指定します。

操作

- 0.0～50.0 の半角数字で指定します。0.1 ミリ単位で指定できます。
- キー、またはスピンボタンで指定します。
- 初期値は“4.1”ミリになっています。
- [お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(2) [左余白] 入力ボックス

機能

- 原稿の左余白を指定します。

操作

- ・0.0～50.0 の半角数字で指定します。0.1 ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は“4.1”ミリになっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(3) [下余白] 入力ボックス

機能

- ・原稿の下余白を指定します。

操作

- ・0.0～50.0 の半角数字で指定します。0.1 ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は“4.1”ミリになっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(4) [右余白] 入力ボックス

機能

- ・原稿の右余白を指定します。

操作

- ・0.0～50.0 の半角数字で指定します。0.1 ミリ単位で指定できます。
- ・キー、またはスピンボタンで指定します。
- ・初期値は“4.1”ミリになっています。
- ・[お気に入り]を指定した場合、本項目は指定できません。

(5) [解像度] コンボボックス

機能

- ・アプリケーションに通知する解像度を選択します。

操作

- ・以下の解像度が選択できます。

600dpi

400dpi

300dpi

240dpi

200dpi

96dpi

- ・初期値は[600dpi]になっています。

(6) [バージョン情報]ボタン

機能

- ・プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

操作

- ・[バージョン情報]ダイアログを表示します。

(7) [標準に戻す]ボタン

機能

- ・各項目の設定内容を初期状態に戻します。

13. 注意／制限事項

13.1 使用可能なプリンタ

Windowsシステムの「プリンタの追加」にて追加済みであることとします。

また、富士フィルムのプリンタを推奨します。

ただしFAXプリンタドライバは使用できません。

13.2 ACEL DocPoem Image Driverに関する注意事項

DocPoemをインストールすると、Windowsのプリンタとして“ACEL DocPoem Image Driver”が生成されますが、プリンタの削除や、プリンタ名の変更を行った場合、DocPoemの動作は保証できません。

また、“ACEL DocPoem Image Driver”をWindowsのネットワークプリンタとして使用することはできません。“ACEL DocPoem Image Driver”はクライアントPC上のローカルプリンタとして使用した場合において動作を保証します。

13.3 ユーザー定義用紙サイズの使用に関する注意事項

DocPoemに取り込んだ原稿に、“ACEL DocPoem Image Driver”がサポートしている定型サイズ以外の原稿サイズが含まれている場合、取り込んだイメージの編集操作はできません。

また、DocPoemから印刷可能なプリンタも制限されます。

13.4 使用するプリンタの事前確認

DocPoemでは、現在のプリンタ環境によってサポート可能な機能を決定します。使用するプリンタに対して、事前に以下について確認する事を強く推奨します。

- ・サポート対象の最新のプリンタドライバを使用する。
- その他、プリンタへのアクセス権の確認を行ってください。

13.5 ネットワークプリンタ、サポート対象外機種についての機能

制限事項

ネットワークインストールしたプリンタ、他社製の機種、およびサポート対象外の機種について制限となる機能を以下に説明します。

（1）印刷結果の制限

以下の印刷属性項目に関して、期待した印刷結果が得られない場合があります。

- ・部数
- ・丁合い
- ・原稿サイズ
- ・用紙の向き
- ・両面印刷

また、以下の印刷設定機能はプリンタドライバを操作しないと実現できない機能であるため無効となります。

- ・出力用紙サイズの変更
- ・給紙トレイの変更
- ・合紙の給紙トレイの選択
- ・オフセット排出
- ・ホチキス
- ・パンチ
- ・紙折り
- ・セキュリティプリント
- ・認証情報の設定

サポート対象外の機種から印刷を実行する場合は、「期待した印刷結果が得られない場合がある。」旨のメッセージを表示します。

（2）デバイス制御に関する機能の制限

出力デバイスの制御（取得／設定）ができないため、以下の機能は無効となります。

- ・物理プリンタとしての表示
- ・印刷設定変更に伴う自動更新
→指定した印刷属性に合わせて、使用できないプリンタは選択不可にする機能です。

動作保証対象とする機種であっても、ネットワークプリンタの場合は、同様の制限が発生します。（クライアントPC上のローカルプリンタとして使用した場合において動作を保証します。）

13.6 プリンタデバイスの性能と印刷設定に関する制限事項

DocPoemは、サポート対象機種の場合、プリンタドライバのオプション構成を取得することで、指定した印刷設定が、実際に印刷可能かどうかを判断しています。

ユーザーが指定した印刷設定では印刷できない機種に対して、機種の選択を不可とし印刷の実行に制限を設けています。以下の印刷設定機能が該当します。

- ・丁合い（丁合い可能なプリンタかどうか）
- ・両面印刷（両面ユニットありかどうか）
- ・給紙トレイと出力用紙サイズ（給紙トレイ構成を取得することで指定した用紙が印刷可能かどうか判断）
- ・オフセット排出（オフセット排出可能か）
- ・ホチキス／パンチの有無、ホチキス／パンチの位置（ホチキスやパンチが実現できるフィニッシャーが指定されているかどうか）
- ・紙折り（紙折りが実現できるフィニッシャーや関連オプションが指定されているかどうか）
- ・小冊子印刷（両面ユニットありかどうか）

ただし、カラーモードに関しては、“カラーで出力する”が指定された場合でも、モノクロ機への出力を許可しています。

13.7 白紙印刷に関する制限事項

DocPoemでは、以下の印刷設定において手動、または自動で白紙原稿や用紙を挿入する機能を提供しています。

- ・用紙ごとに両面、片面の指定が可能であり、両面と片面が混在する場合、片面で印刷する用紙の裏面を白紙にする。
- ・合紙挿入
- ・白紙挿入

白紙の印刷を保証するために、サポート対象機種においては、プリンタ ドライバの [白紙節約] → “白紙節約しない” を設定後、印刷を実行しています。

13.8 印刷結果に関する制限事項

DocPoemから印刷した結果が、アプリケーションの印刷プレビューやアプリケーションから直接印刷した結果と異なる場合があります。

これらの原因および、その対処方法について説明します。

(1) プリンタフォントが正しく出力されない

文書中にプリンタフォントが存在する場合、プリンタフォントが正しく出力されない場合があります。文書中にプリンタフォント指定の文字列が存在する場合、その文字列はアプリケーション側で何らかのフォントに置換され印刷されます。

プリンタフォントを使用して印刷する場合には、文書中ではTrue Typeフォントを選択し、印刷で使用するプリンタ ドライバ側でフォント代替を指定してください。

(2) 文書ファイルとアプリケーションのバージョン差異により、印刷結果が異なる

文書ファイルを作成したアプリケーションと印刷を実行するアプリケーションのバージョンが異なる場合、文書中の設定状態が無効となることがあります。

このような現象が発生した場合には、一旦、印刷するアプリケーションのバージョンで文書ファイルを更新→保存後、再度印刷を行ってください。

(3) 罫線が強調して描画される

DocPoemの罫線補正機能により、文書中の罫線が強調して描画される場合があります。

このような現象が発生した場合には、メニューバーから [イメージ] – [罫線補正]

メニューを選択し、罫線補正機能を解除してください。

13.9 セキュリティプリントと認証情報の設定に関する制限事項

以下の機種では、Ver2.x以降のプリンタドライバでなければ、セキュリティプリント機能を使用することはできません。

DocuCentre Color 400 / 320 / 240 / 160
DocuPrint C2221
DocuPrint C2220
DocuCentre 559 / 659 / 719 CP
DocuCentre 507 / 508 / 607 / 608 / 707 / 708

以下の機種では、Ver2.x以降のプリンタドライバでなければ、認証情報の設定を行うことはできません。

DocuCentre Color 400 / 320 / 240 / 160
DocuCentre Color 500 / 500 CP
DocuPrint C2221
DocuPrint C2220
DocuPrint C1250
DocuColor 1250
DocuCentre 905 / 1010 / 1015
DocuCentre 559 / 659 / 719 CP
DocuCentre 507 / 508 / 607 / 608 / 707 / 708

13.10 64 ビット OS で使用する場合の制限事項

64ビットバージョンのWindowsで使用する場合は、以下の機能を使用できません。

(1) 書庫ファイルの取り込み機能